

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成22年6月22日(火) 11:00～11:30

場 所：山形大学インフォメーションセンター(小白川キャンパス)

発 表 事 項

1. YU-COE を決定しました
2. 哈爾濱(ハルビン)に海外拠点を設置しました
3. ワークライフバランスを実現するために
4. ワークライフバランス・イノベーションを推進します
5. 宇宙ヨット「イカロス」搭載 世界初の GAP が運用を始めます
6. 大学院生が企画構成した展覧会「印象派の光」を開催中
7. アフィニスから「音楽の贈り物」

お 知 ら せ

1. 山形大学と交流する会 発会式
2. 「平成22年度やまがた6次産業ビジネススクール」受講生募集！
3. 農学部 在来作物実践講座「おしゃべりな畑」受講生募集
4. 理学部「小さな科学者・体験学習会」
5. 有機エレクトロニクス体験ゾーン(実験・実習体験コーナー)

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成22年7月6日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

プレス発表資料

平成 22 年 6 月 22 日
 山 形 大 学

YU-COE を決定しました

将来、国内外の先進的研究拠点となる可能性を有する研究グループを、山形大学先端的研究拠点 (YU-COE) として支援します

YU-COE は、国際的に通用する高い水準にある研究拠点や、研究成果が社会、地域に大きく貢献する研究拠点を重点的に支援するとともに、将来、そのような拠点となり得る研究グループを発掘し、育成することを目的としています。

本年度は「結城プラン 2010」により、6 件の新たな萌芽的研究グループの支援を決定しました。

『YU-COE (E) [E=Exploratory]』

	形成しようとする研究拠点	支援額 (万円)	拠点リーダー
1	山形大学ナスカ研究所	500	人文学部・教授 坂井正人
2	プリンテッドエレクトロニクス産業基盤創生	300	理学部・准教授 栗原正人
3	ヒトの出生率向上と産業動物生産の効率化拠点 (哺乳動物生殖拠点)	500	大学院医学系研究科・教授 藤井順逸
4	社会ニーズに応えるオンリーワン・ナンバーワン バイオ工学研究拠点	300	大学院理工学研究科・教授 阿部宏之
5	次世代ロボットデザインセンター ～次世代ロボットを生み出す創造技術フロンティア～	400	大学院理工学研究科・教授 妻木勇一
6	山形大学方式による糖質系アグリ資源の新規活用技術とその応用展開技術に関する研究拠点	500	大学院理工学研究科・准教授 西岡昭博

※参 考

「結城プラン 2009」により、大型の競争的資金を獲得するなど、外部からすでに拠点として認められている 3 拠点については、昨年度から YU-COE (S) として支援を行っています。

『YU-COE (S)』

	研 究 拠 点	支援額 (万円)	拠点リーダー
1	分子疫学	2,000	医学部・教授 山下英俊
2	有機EL	1,000	大学院理工学研究科・教授 城戸淳二
3	核子スピン	2,000	理学部・教授 岩田高広

(お問い合わせ)
 企画部研究支援ユニット (渡邊・庄司)
 電話：023 (628) 4845

学生が 主役の 大学創り



Yamagata
University
Keeps
Innovation
Plan 2010

Research

【研究の基本方針】

国際的に通用する高い水準の研究及び地域に貢献する研究等を推進するとともに、研究者が十分に能力を発揮できる環境を整備します。

PLAN ①

本学独自のYU-COE(山形大学先進的研究拠点)として、現在の3拠点(分子疫学、有機EL、核子スピン)を維持した上で、新たに萌芽的な研究グループを3件程度選定し、支援します。

結城プラン2010



国立大学法人 山形大学

平成22年6月22日
山形大学

哈爾濱（ハルビン）に海外拠点を設置しました

「結城プラン2009」で掲げたアクションプランにより、中国東北部での新たな活動拠点を開設しました。

山形大学の国際交流推進のため、留学生の獲得や研究者交流の支援に大きな役割を果たします。

1. 設置場所

山形県東方水上シルクロード貿易促進協議会哈爾濱代表処内
(中国黒龍江省哈爾濱市香坊区中山路162-1号迪康財富大厦1309号室)

※1992年5月に、中国黒龍江省哈爾濱から日本海を経て酒田港に至る全長2,800kmの新航路「東方水上シルクロード」が開設され、同年12月には、新航路の活用による酒田港の活性化と、北東アジア経済圏との経済交流の拡大を目的とした「東方水上シルクロード貿易促進協議会」(新田嘉一会長)が設立されました。

1993年には山形県と黒龍江省との間で「友好県省」の締結がなされており、両県省の交流はますます盛んになっており、両県省の交流の更なる推進と、黒龍江省への進出企業に対する支援活動のため、1997年6月に黒龍江省哈爾濱市内へ協議会の「哈爾濱代表処」を開設しました。代表処の開設により、両県省の経済・人事・文化・観光など幅広い分野での交流が盛んになっています。

2. 行う業務

- ・本学についての広報活動
- ・現地を訪問する本学教職員に対する支援
- ・本学大学院への入学希望者、本学で研究活動を希望する研究者に対する支援
- ・留学生同窓会に対する支援 等

3. 業務担当者

黄河さん



4. その他の山形大学海外拠点

設置場所	設置年度	スタッフ等
欧州原子核研究機構(CERN)内/ジュネーブ(スイス)	2008年度	本学教員が常駐
ハノイ農業大学内/ハノイ(ベトナム)	2008年度	本学雇用のスタッフが勤務

(お問い合わせ)
企画部国際交流ユニット(山口)
(TEL)023-628-4118

平成22年6月22日
山形大学

ワークライフバランスを実現するために

山形大学は平成22年度から平成31年度までの10年を計画期間とする「山形大学男女共同参画基本計画」を策定しました。

山形大学は昨年度、文部科学省の科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」（課題名：山形ワークライフバランス・イノベーション）に採択され、女性研究者がその能力を最大限発揮できるように、研究環境の整備や意識改革など様々な取り組みを行ってきました。

世界、また日本全国の大学において、学術分野での男女共同参画が急務となっています。我が国の女性研究者比率は13.0%（平成20年3月）、山形大学の女性教員の比率は13.1%（平成21年5月1日現在）となっています。

女性研究者の比率を高める等、山形大学における男女共同参画を推進するとともに、本学の学生と教職員が性別にかかわらず、個性と能力を発揮し、学業・仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を実現することを目指し、今後10年を見越した、男女共同参画推進の基盤として「山形大学男女共同参画基本計画」を定めました。

基本方針

目的の達成に向けた、本学の基本方針は次のとおりです。

1. 教職員（教員及び職員）等の男女機会均等の実現・格差の是正
2. 教育・研究及び就労と家庭生活との両立のための環境作り
3. 男女共同参画に関する意見・要望等をくみ上げるシステムの整備
4. 男女共同参画への意識改革の促進
5. 女性研究者（教員・後期博士課程学生・ポストドクター）の裾野拡大
6. 男女共同参画推進のための教育・研究の充実
7. 男女共同参画に関する学内の調査・分析・統計等の情報提供
8. 男女共同参画に取り組む地域社会等との連携

（お問い合わせ）

男女共同参画推進室

電話：023(628)4937

国立大学法人山形大学
男女共同参画基本計画



平成22年6月

はじめに

平成 11 年に、「男女共同参画社会基本法」(平成 11 年法律第 78 号)が制定され、それに基づき、平成 12 年に、「男女共同参画基本計画」が閣議決定された。「基本法」は、男女共同参画社会の実現を、21 世紀の我が国社会を決定する最重要課題と位置付けている。それを受けて、政府の男女共同参画推進本部は、平成 15 年に、国の審議会等における女性委員の登用について、平成 17 年度末までのできるだけ早い時期に 30%以上とすることを旨とすると共に、「社会のあらゆる分野において 2020 年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも 30%程度になるように期待する」ことを決定した。

平成 17 年には、「男女共同参画基本計画」(第 2 次)が閣議決定され、新たな取組を必要とする 12 の重点分野を掲げて、平成 32 年度までを見通した施策の基本的方向と平成 22 年度までに実施する具体的施策の内容が提示された。

科学技術の分野は、この重点 12 分野の一つとして位置づけられ、これを受けて、平成 18 年に、「第 3 期科学技術基本計画」が閣議決定された。日本の科学技術の将来や国際競争力の維持・強化は、多様な個々人の意欲と能力にかかっているという認識に立脚して、「女性研究者の活躍促進」のために、女性研究者の採用割合を自然科学系全体として 25% (理学系 20%、工学系 15%、農学系 30%、保健系 30%) とする数値目標を設定した。

さらに、平成 20 年に内閣府の男女共同参画推進本部は、女性の参画が進んでいない分野として医師、公務員、と並んで研究者に焦点を当て、「女性の参加加速プログラム」を策定し、これらの分野について重点的な取組として推進することを決定した。

我が国の女性研究者比率は 13.0% (平成 20 年 3 月) で、先進 36 カ国中最低の数値を示している。日本学術会議の調査によれば、学術分野全体の女性比率が低いだけでなく、領域や職階による偏差が著しいこと、女性研究者の比率を向上させた諸外国の例をみると、積極的改善措置 (ポジティブ・アクション) が非常に有効に機能していること、教育・研究活動と育児との両立支援体制、意識改革が重要であること等が指摘されている。

かくして、各大学において、学術分野に特徴的な現状・課題・阻害要因等を考慮しつつ、男女共同参画を進めることが強く求められることとなり、本学においても、そのような社会的要求に積極的に対応することが急務となっている。

山形大学の現状をみると、女性教員の比率 13.1% (平成 21 年 5 月 1 日現在) は、国立の医科系学部を有する中規模総合大学 25 大学の平均値 (13.8%) とほぼ同水準にあるが、分野によっては、同規模大学の平均値と比較してかなり低い数値に止まっている。また、2010 年までに国立大学の女性教員比率を 20% とした国立大学協会の示した数値目標にはほど遠い状況にある。

女性教員の比率を引き上げることは、女子学生の比率が年々増加している状況にかんがみて、山形大学の将来の教育にとって重要な課題となるばかりでなく、大学のアクティビティーの基本は多様性 (多様な人材の多様な能力の活用) にあることに照らせば、山形大学の研究の活性化を持続してゆくためにも重要な問題であると考えられる。このような問題は、施策の成果が現れるまでに時間を要するものであることから、早急に積極的な取組に着手し、種々の施策を確実に推進していくことが必要である。

一方、教育・研究活動等を支える職員構成をみると、平成 21 年 5 月 1 日現在で、1,035 名中、女性職員比率は 61.3%で、その多くを占めているのは看護職等の医療系で働く女性である。医療系を除く事務・技術技能系等の女性比率は全体で 26.9%となり、係長以上の職では 14.6%となっている。また、41 歳以上の女性職員比率が 17.7 %に対し、40 歳以下の女性職員比率が 39.7 %であることは、男女雇用機会均等法の制定（昭和 60 年）、改正男女雇用機会均等法の施行（平成 19 年）以後の若い世代では、応募・採用段階での格差がなくなってきたことを示しているといえる。今後の課題としては、ワークライフバランスの実現と管理職への登用に向けた女性職員の人材育成が重要になってくる。

山形大学は、男女共同参画の推進が今後の大学の発展にとって不可欠であるという認識に立ち、多様性の受容と尊重（多様な人材の潜在能力を活用する経営）、ライフステージに応じた制度の整備（ワークライフバランス）を目指し、性別にかかわらず個性と能力を發揮できる大学作りを推進することが重要であると考え、平成 21 年 1 月に「山形大学男女共同参画推進宣言」を発表した。また、「平成 21 年度文部科学省科学技術振興調整費女性研究者支援モデル育成事業」の採択を受け、「山形ワークライフバランス・イノベーション」を積極的に進めているところである。現状においては、山形大学教職員に対する「男女共同参画に係るアンケート結果」（平成 22 年 3 月）からみて、家事・育児・介護等の負担は依然として女性の側に大きく偏重しており、それらを支えるべき様々な環境も未だ不十分であることが読み取れる。

本基本計画は、高等教育・学術研究の機関としての山形大学が、男女平等という社会的価値の推進者としての学術的・社会的な役割と責任を果たすために、全学的な取組として策定するものである。また、これは、本学における男女共同参画推進の目的、方針、施策、推進体制等についての基本的事項を明示し、今後、大学及び各部局が一体となって具体的な取組を計画的に推進する基盤となるものである。

山形大学男女共同参画基本計画

．目的

山形大学は、「男女共同参画社会基本法」(平成 11 年 6 月 23 日法律第 78 号)の理念に基づき、男女共同参画社会実現のために大学が担うべき役割と責任を自覚し、「山形大学男女共同参画推進宣言」(平成 21 年 1 月 23 日)を策定した。本学の学生及び教職員が性別にかかわらず、あらゆる活動において個性と能力を発揮でき、かつ、学業・仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を実現することを目指し、具体的な施策の推進を図っていくため、ここに山形大学男女共同参画基本計画(以下「基本計画」という。)を定める。

．基本方針

目的の達成に向けて、本学の基本方針を次のとおり定める。

- 1．教職員(教員及び職員)等の男女機会均等の実現・格差の是正
- 2．教育・研究及び就労と家庭生活との両立のための環境作り
- 3．男女共同参画に関する意見・要望等をくみ上げるシステムの整備
- 4．男女共同参画への意識改革の促進
- 5．女性研究者(教員・後期博士課程学生・ポストドクター)の裾野拡大
- 6．男女共同参画推進のための教育・研究の充実
- 7．男女共同参画に関する学内の調査・分析・統計等の情報提供
- 8．男女共同参画に取り組む地域社会等との連携

．具体的施策(行動計画)

の基本方針に基づく具体的な取組として、以下の行動計画を掲げる。

1．教職員等の男女機会均等の実現・格差の是正

1) 女性教員比率の向上

- ・ 雇用機会均等法によると女性の割合が4割を下回っている場合、男女格差が存在していると判断される。本学においても女性教員比率を引き上げるとともに、格差の是正に努める。
- ・ 女性教員の採用比率を、当面、全体として 20 % (「国立大学協会」の提言)以上とすることを目標とする。
- ・ 平成 25 年度までに、女性教員の比率を現在の 13.1% (平成 21 年度)から 15 % まで引き上げる。将来的には、女性教員の比率を 25% まで引き上げる。
- ・ 上記の目標を達成するため、必要な改善措置等を男女共同参画推進室を中心に各学部等においても具体的に検討し、その達成状況を毎年点検する。

2) 大学運営における女性参画の拡大

- ・ 女性職員の人材育成のため、積極的な方策を推進する。

- ・ 女性教職員の管理職比率の向上のため、登用等を積極的に推進する。

3) 男女格差是正のためのチェック機能の導入

- ・ 教職員の採用や昇進において、積極的な改善策がとられているか、また、業績評価において、性別による差別等がないかを定期的に点検する。

4) キャリアアップ支援策の推進

- ・ メンター制度を構築し、助教・助手等の女性教員や博士課程の女性大学院生(ポストドクターを含む)が抱える問題に助言するシステムを整備する。
- ・ 大学内外の研修については、女性教職員がその機会を妨げられることのないように支援する。

2. 教育・研究及び就労と家庭生活との両立のための環境作り

A 研究環境

1) ユビキタス・ワーキングを可能にする環境の整備

- ・ 自宅等のパソコンから学内 LAN を利用し、大学外においても研究や業務が可能となるユビキタス・ワーキング・システム導入の可能性を探り、順次、その環境を整備する。

2) 巡回相談・来室相談の実施

- ・ 女性研究者が抱える問題を早期に発見して対応すべく、定期的な巡回相談を行う。また、すべての教職員からの相談も随時受け付け、当該部局と連携し協力して問題の解決に当たる。

3) 研究継続支援員の配置

- ・ 育児・介護中の研究者が研究を継続できるよう、適切な「研究継続支援員」を配置するなどの支援を行う。

4) 学会出張時の支援

- ・ 国内外の学会参加を、育児・介護を理由に断念することがないように、地域の保育・介護支援施設とも連携して支援する。

B 就労環境

1) 保育制度の充実

- ・ 各キャンパスの実情を踏まえ、そのニーズを把握し、キャンパスに合った保育サービスを提供できるよう具体策を検討し実施する。
- ・ 現在本学において実施している、学生を活用した「託児サポーター制度」を保育サービスに組み入れる。

2) 育児・介護支援

- ・ 男性教職員を含め、育児・介護休業の取得に支障がないように環境を整備する。
- ・ 短時間労働制等の積極的な活用を図る。
- ・ 育児・介護の相談窓口を設置する。

3) 就労環境・就労慣行の見直し

- ・ ワークライフバランスの観点から、業務の改善に取り組み超過勤務を縮減すると共に各職場の就労慣行を見直し、就労環境の改善に積極的に取り組む。

- ・ 会議については、就業時間内に終了するよう工夫する。
3. **男女共同参画に関する意見・要望等をくみ上げるシステムの整備**
 - ・ 男女共同参画に関する施策の策定や実施について、教職員及び学生からの意見や要望を積極的にくみ上げるシステムを整備する。
 4. **男女共同参画への意識改革の促進**
 - ・ シンポジウムや啓発セミナー、男女共同参画フェスタ等を定期的で開催する。
 - ・ 女性研究者ネットワークを構築し、定期的な勉強会等を開催する。
 - ・ 学長・学部長と女性研究者との懇談会を定期的で開催する。
 - ・ ホームページ、男女共同参画ニュースレター、メールマガジン等による学内外への情報発信を強化する。
 5. **女性研究者の裾野拡大**
 - ・ 専門分野を活かした職業に就いている女性卒業生等を招いた講演会や交流会を、各学部等で定期的で開催する。
 - ・ 女子中高生向けのセミナー等を開催する。
 6. **男女共同参画推進のための教育・研究の充実**
 - ・ 「ウーマン・オブ・ザ・ヤマガタ」など、ジェンダー学や男女共同参画関連授業、女性のキャリア支援教育科目を拡充する。
 - ・ ジェンダー学や男女共同参画に関する研究や顕著な業績を表彰制度に組み込む。
 7. **男女共同参画に関する学内の調査・分析・統計等の情報提供**
 - ・ 男女共同参画への意識と実態の経年変化を捉えることを目的に、毎年、学内教職員を対象にアンケート調査を実施し、その結果をホームページ等で公表する。
 - ・ 男女共同参画に関する本学の基本的なデータを公表する。
 8. **男女共同参画に取り組む地域社会等との連携**
 - ・ 男女共同参画に関して他大学や地域の自治体等とのネットワークを築き、連携を図る。

・ 推進体制

本基本計画の実施に当たっては、男女共同参画推進委員会の決定の下、全学の推進組織である男女共同参画推進室と各部局の推進組織とが連携協力し、一体となって具体的な事業を推進する。

・ 計画期間の設定等

- 1) 基本計画の計画期間は、平成 22 年度から平成 31 年度までの 10 ヶ年とする。
- 2) 本学及び各部局は、平成 22 年度から平成 31 年度までの計画期間の目標と年度ごとの計画を設定し、年度ごとに達成状況を点検評価する。
- 3) 計画策定後、2 年目の平成 23 年度及び 6 年目の平成 27 年度には、基本計画の達成状況について中間評価を実施する。

平成22年6月22日
山形大学

ワークライフバランス・イノベーションを推進します

男女共同参画フェスタで、山形大学が男女共同参画の実現に向けて取り組んでいる改革を紹介します。

「男女共同参画フェスタ」を開催いたします。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

【パネル展】

日時：平成22年6月22日(火)～7月5日(月) 10:30～16:00

会場：山形大学インフォメーションセンター（山形市・小白川キャンパス）

①山形ワークライフバランス・イノベーション

男女共同参画の実現に向けて取り組んでいる改革の状況を紹介します。

②「メディアウォッチ」

テレビや新聞、ポスター等を男女共同参画の視点から見てみましょう。

その他、男女共同参画推進室が所蔵する最近の文献や資料を紹介しています。

【男女共同参画フェスタ 公開授業】

日時：平成22年6月23日(水) 10:30～12:00

会場：基盤教育1号館131教室（山形市・小白川キャンパス）

「映画で見る性の多様性」坂無 淳（男女共同参画推進室助教）

日時：平成22年6月23日(水) 13:00～14:30

会場：基盤教育2号館221教室（山形市・小白川キャンパス）

映画を通して考える「私の身体は誰のもの？」幅崎麻紀子（男女共同参画推進室助教）

【映画でおしゃべり 男女共同参画カフェ】

日時：平成22年7月3日(土) 14:00～16:00

会場：山形大学インフォメーションセンター（山形市・小白川キャンパス）

映画を通して考える「お化けの世界の女と男」

コメンテーター：幅崎麻紀子（男女共同参画推進室助教）

※平成11年6月23日「男女共同参画社会基本法」が公布・施行されました。内閣府は、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」とし、男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目指しています。

(お問い合わせ)

男女共同参画推進室

電話：023(628)4937

山形大学

男女共同参画フェスタ

6月22日(火)~7月5日(月)

会場：山形大学インフォメーションセンター他

(小白川キャンパス・理学部1号館東側)



平成11年6月23日が「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日であることを踏まえ、内閣府男女共同参画推進本部は、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」とし、男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目指しています。

山形大学においても、この趣旨に賛同し「男女共同参画フェスタ」を下記の通り開催いたします。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

パネル展(会場：インフォメーションセンター)

山形ワークライフバランス・イノベーション

山形大学が、男女共同参画の実現に向けて取り組んでいる改革の状況を紹介します。「メディアウォッチ」

テレビや新聞、ポスター等を男女共同参画の視点から見てみましょう。何が見えてくるでしょうか。

関連図書紹介(会場：インフォメーションセンター)

男女共同参画推進室が所蔵する最近の文献や資料を紹介しています。

映画でおしゃべり 男女共同参画カフェ【7月3日(土)14:00~16:00】

(会場：インフォメーションセンター)

映画を通して考える「お化けの世界の女と男」

コメンテーター：幅崎麻紀子(男女共同参画推進室助教)

映画をもとに<女らしさ/男らしさ>についておしゃべりしましょう。

お茶やコーヒーを用意しております。

男女共同参画フェスタ 公開授業 6月23日(水)

・10:30~12:00「映画で見る性の多様性」

坂無 淳(同推進室助教)会場：基盤教育1号館 131教室

・13:00~14:30 映画を通して考える「私の身体は誰のもの？」

幅崎麻紀子(同推進室助教)会場：基盤教育2号館 221教室



お問い合わせ：山形大学男女共同参画推進室
電話：023-628-4937/4938/4939
E-mail：danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
ホームページ：<http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo>



平成 22 年 6 月 22 日
山 形 大 学

宇宙ヨット「イカロス」搭載 世界初の GAP が運用を始めます

山形大学が開発に携わった世界初の GAP が本格的な観測を開始します。

2010年5月21日に金星探査機「あかつき」と宇宙ヨット「イカロス」が打ち上げられました。

このイカロスには、山形大学が開発に携わった GAP と呼ばれるガンマ線バースト偏光度検出器 (Gamma-ray burst Polarimeter) が取り付けられています。6月の下旬に GAP に電源が投入され、本格的なガンマ線バーストの観測が開始されます。

1. GAP と偏光観測

今回打ち上げられた GAP という検出器は、ガンマ線バーストから来るガンマ線の偏光観測に特化した世界で初めての検出器です。

ガンマ線は電波や光の仲間であり、エネルギーの高い電磁波です。電磁波の振動方向が偏っている場合には、「偏光している」と言われます。光の偏光は簡単に測定できますが、ガンマ線の偏光を精度よく測定することは非常に難しいのです。しかし、もしガンマ線バーストで放出されるガンマ線が偏光しているかどうかを詳しく調べる事ができれば、ガンマ線バーストのエネルギー発生メカニズムの研究が大きく進展します。

2. ガンマ線バーストとは

ガンマ線バーストとは宇宙で起こる最大の高エネルギー現象で、数秒から数十秒の間に大量のガンマ線を放出します。そしてこの爆発のエネルギーは超新星爆発の数倍から数10倍に達します。この現象は1日に1回程度観測されており、宇宙の果てで起こるとい事が現在分かっています。

しかし、どうやってとてつもないエネルギーを放出できるのかというエネルギー発生メカニズムの詳細はまだ霧の中です。

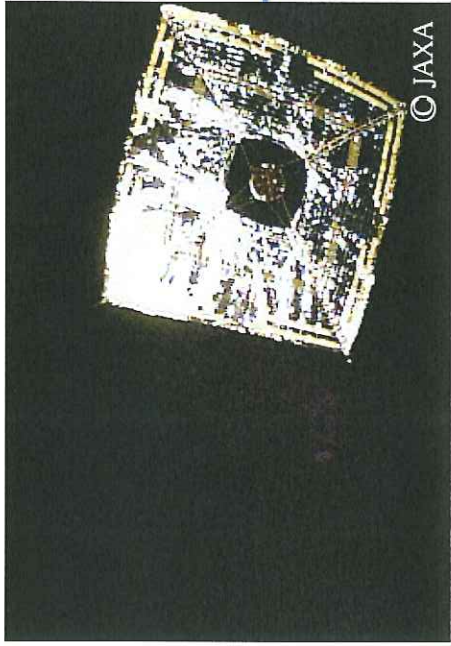
(お問い合わせ)

理学部物理学科 教授 郡司修一

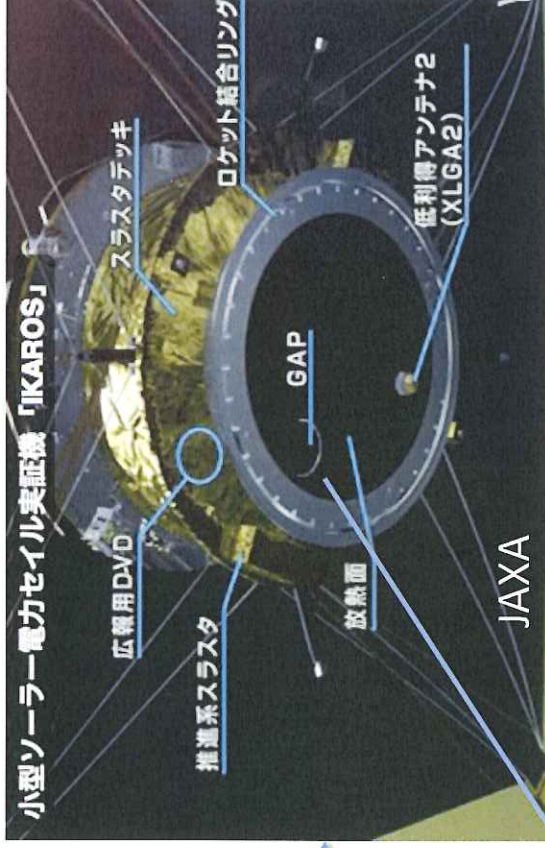
電話：023(628)4555

<http://ksprite.kj.yamagata-u.ac.jp/>

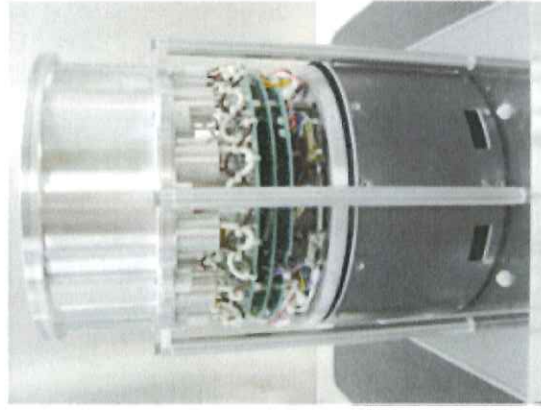
宇宙ヨットIKAROS



14m四方の太陽パネルを広げて太陽からの光を感じて航行する。



太陽とは反対方向にGAPが取り付けられている。



GAP(Gamma-ray burst Polarimeter)検出器

3.7kgと超軽量ながら、**ガンマ線バーストの偏光測定に特化した世界で初めての検出器。**

金沢大学、山形大学、理化学研究所、クリアパルス株式会社によって開発が行われた。

山形大学は検出器の動作をコントロールしたり、上空でデータの解析を行うためのソフトウェアの開発を主に行った。今月の下旬に電源ON。

GAPIはガンマ線バースト偏光度検出器？

ガンマ線バーストとは？

- ・宇宙最大の爆発現象で、数秒から数十秒程度ガンマ線が大量に放出される。超新星爆発の数10倍程度のエネルギーを放出する。
- ・宇宙の果てで起こっており、1日に一回程度観測される。
- ・どの様にエネルギーを放出しているのか、詳しいことが未だ不明。



↓
宇宙物理学の中心的な研究課題の一つ

ガンマ線とは？

- ・電磁波の一種

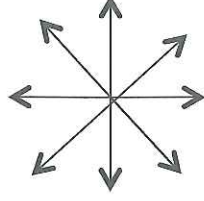


エネルギー低い

電磁波は電気と磁気の波。
振動する方向が存在する。



光の偏光を測定する事はたやすいが、
ガンマ線の偏光を精度よく測定する事は
非常に難しい。



強く偏光している

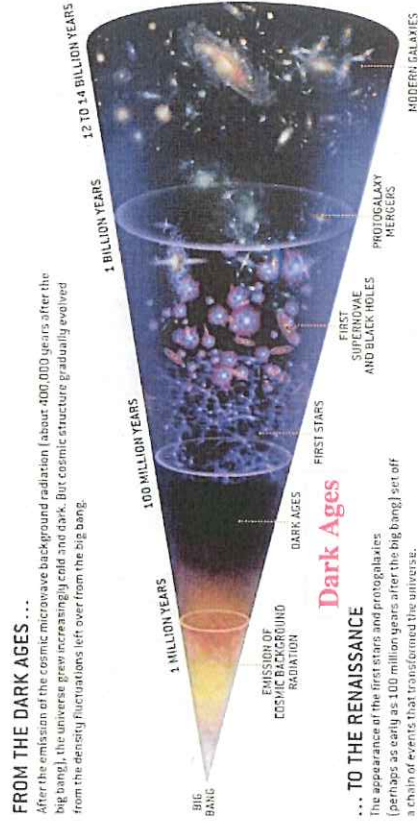
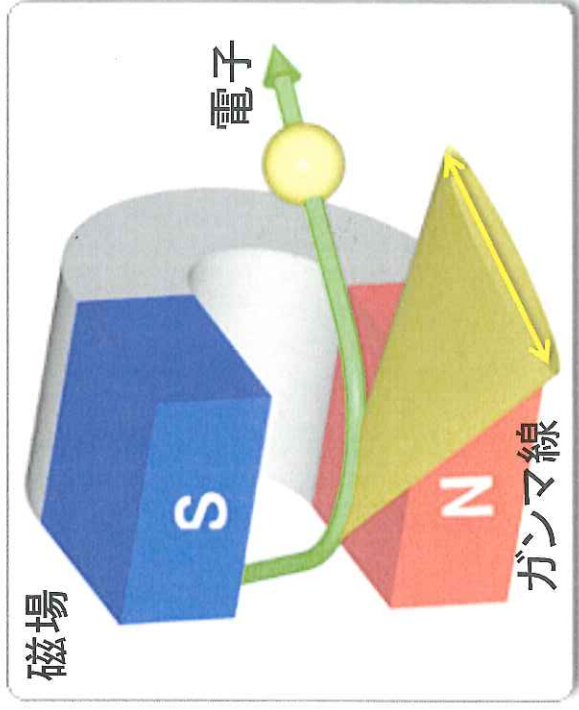
ガンマ線バーストの偏光を測定すると何が分かるのか？



ガンマ線バーストのエネルギー放射メカニズムはまだ分かっていないが、磁場が関与している可能性がある。あると言われている。もし磁場が関与していると、ガンマ線が強く偏光する。どちらの方向にどれくらい偏光しているかを調べることで、ガンマ線バーストのエネルギー放射メカニズムに関する重要な情報を手に入れることができる。



ガンマ線バーストのエネルギー放射メカニズムが正確に分かると、宇宙論の研究に役立つ可能性がある。遠方の現象を観測するということは、宇宙の過去の現象を調べる事につながる。



山形大学では、GAP以外にも偏光観測の様々なプロジェクトを行っている。GAPを始めとするそれらの情報は以下のホームページにある。

<http://ksprite.kj.yamagata-u.ac.jp/~research/polar/polar.html>

平成 22 年 6 月 22 日
山 形 大 学

大学院生が企画構成した展覧会「印象派の光」を開催中

地域教育文化研究科の大学院生が、ルノワールなどの印象派の近代絵画を中心とした展覧会をマネジメントしています。

☆吉野石膏コレクション『印象派の光』 **開催中**

開催期間：平成 22 年 6 月 3 日(木)～7 月 19 日(月)

開館時間：午前 10 時～午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)

入館料：一般 600 円、高大生 300 円、小中生 200 円

※団体 20 名以上 2 割引き、土日は小中生無料。

◎ギャラリートーク(講師：山形大学大学院地域教育文化科学研究科院生)

開催日時：6 月 26 日(土)、7 月 17 日(土) 両日とも午後 2 時～午後 3 時

お問い合わせ・お申し込み：

山形美術館 (〒990-0046 山形市大手町 1-63 tel. 023-622-3090 fax. 622-3145)

<http://www.yamagata-art-museum.or.jp/> e-mail: info@yamagata-art-museum.or.jp

地域教育文化研究科の大学院生が実習の一環として企画した展覧会です。

山形美術館に寄託されている吉野石膏コレクションの中から展示構成したもので、印象派を中心とした 19 世紀以降の近代絵画の名作が多数含まれています。展示では印象派による「光」の表現に焦点をあて、19 世紀から 20 世紀にいたる美術の流れをわかりやすく構成しています。作品の配置やパネルの解説文、ポスターなど、多くの皆さまに親しみ、関心を持っていただけるよう、大学院生が工夫をこらして制作・構成しました。

ギャラリートークも大学院生が講師を務めます。

※ 地域教育文化研究科「文化コーディネート実習」は、芸術・スポーツ事業の企画運営(マネジメント)を実践的に理解するために関連機関で実習を行うもので、2 年次院生の必修科目として位置づけられており、今年度がはじめての実習となります。

(お問い合わせ)

地域教育文化学部地域教育学科 准教授

小林 俊 介

電話：023(628)4329

e-mail: shun@e.yamagata-u.ac.jp

吉野石膏コレクション

印象派の光

2010年
6月3日(木)-7月19日(月)

□開館時間=午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
□休館日=毎週月曜日および6月23日～25日 7月6日 13日
□主催=山形美術館/山形新聞/山形放送
□共催=山形県/(財)山形県生涯学習文化財団 □後援=山形市
□入館料=一般600円 高大生300円 小中生200円
※団体20名以上各2割引 土曜日は小中生無料
※常設展と共通料金

◎「光のはこをつくろう! 造形のワークショップ」

日時=6月19日(土)午後1時30分～午後3時30分

場所=山形美術館2階休憩室

定員=20名(どなたでも参加可。ただし要事前申込。先着順)

※参加される方は空き箱(ティッシュボックス程度が理想的)・カッター、ハサミ等をご持参下さい。

◎ギャラリートーク (山形大学大学院地域教育文化学研究所)

日時=6月26日(土) 7月17日(土) 両日とも午後2時～午後3時

お問い合わせ・お申込み=山形美術館

山形美術館 〒990-0046 山形市大手町1-63
Tel. 023-622-3090 Fax. 023-622-3145
E-mail. info@yamagata-art-museum.or.jp

平成22年6月22日
山形大学

アフィニスから「音楽の贈り物」

アフィニス夏の音楽祭メンバーが音楽交流プログラムを実施します。
地域教育文化研究科音楽芸術分野の大学院生が企画運営しています。

☆2010年8月18日（水）

♪かみのやま 湯かったコンサート♪（上山市体育文化センター）

上山市と上山音楽センターが協力して、音楽祭メンバーが室内アンサンブルを演奏します。また、地元の演奏家も交えて「ゆかたの似合うまち・かみのやま温泉」ならではの演奏会を企画します。

♪夏の夜の文翔館中庭コンサート♪（文翔館中庭）

世界の第一線で活躍する海外オーケストラの首席金管奏者とセミナー参加者との金管アンサンブルや地元ホルン愛好者との共演など、本格的で親しみのあるプログラムをお贈りします。

☆2010年8月19日（木）

♪高瀬べに花コンサート♪（高瀬ふれあい交流センター）

紅花の里として有名な高瀬では、講師と参加メンバーによる小編成アンサンブルに加え、地元中学校吹奏楽部との共演や歓迎演奏として高瀬の伝統芸能を披露します。地区の特徴を活かし、地域の方々と音楽会を創ります。

♪蔵王やすらぎの里なごみコンサート♪（軽費老人ホーム蔵王安らぎの里）

蔵王の豊かな自然の中で、普段は触れることの少ない生の演奏を届めます。音楽による“なごみ”のひとつきを演奏者と聴衆が分かち合います。

☆アフィニス夏の音楽祭ブログ（毎週更新）

大学院生が担当しています。原稿を大学院生が作成し、アフィニスの本部で校正・編集をして更新しています。

・アフィニス文化財団ホームページ → アフィニス夏の音楽祭 → 夏の音楽祭ブログ

☆今後の活動予定

・合同ワーキンググループ会議

期日：6月24日（木）12：30～ 山形県新築西通り会館3F会議室

内容：文翔館・上山・高瀬・蔵王やすらぎの各ワーキンググループが一同に介して、進捗状況の報告や今後の活動予定の確認を行います。

（お問い合わせ）

地域教育文化学部文化創造学科 教授 藤野祐一
（TEL）023-628-4330

プレス通知資料（概要）

平成22年6月22日
山形大学

1. 山形大学と交流する会 発会式

(概要) 山形大学における研究の発展と人材の育成を支援するとともに、会員企業における山形大学の「知」の活用や会員企業と山形大学の教職員及び学生との交流を推進することによって、地域の活性化と会員企業の発展に寄与することを目的として、交流する会を発会します。

詳細につきましては、7月6日の学長定例記者会見の席上で改めてご説明いたします。

日 時:平成22年7月6日(火)11:30~13:15(学長定例記者会見、終了後)

会 場:山形大学事務局3階 第1会議室(山形市・小白川キャンパス)

問い合わせ:山形大学企画部社会連携ユニット 矢口

(TEL)023-628-4840

2. 「平成22年度やまがた6次産業ビジネススクール」受講生募集!

(概要) 「やまがた6次産業ビジネススクール」は、食農ビジネスの高付加価値を実現するために、経営感覚と起業家精神を持って6次産業化に取り組む経営者(及び将来の経営者)を育成します。

募集定員:40名程度

応募資格:

- ①農業を基軸に6次産業ビジネスを起こす意志を持っている方
- ②商工業、建設業で6次産業ビジネスに進出する意志を持っている方
- ③市町村、団体等の職員で6次産業に関する指導者やコーディネーターをめざす方

出願期間:平成22年6月11日から平成22年6月28日(当日必着)まで

出願先:〒990-2473 山形市松栄 1-3-8 山形県産業創造支援センター内

(株)荘銀総合研究所 6次産業推進事務局

開講場所:講義は、山形県産業創造支援センターを中心に開講します。

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学企画部社会連携ユニット 矢口

(TEL)023-628-4840

3. 農学部 在来作物実践講座「おしゃべりな畑」受講生募集

(概要) 農学部では、在来作物をテーマにした講座「おしゃべりな畑」を開講します。

山形の多様な在来作物は季節や地域に限定されながら、その風土や環境に馴染みつつ変遷し、地域の貴重な食材として生まれ「生きた文化財」として注目を浴びています。

そこで、在来作物の栽培技術や歴史、文化を学ぶとともに、機能性成分を踏まえながら高付加価値化を進め、栽培や販売の増加、伝統的な料理に加え新しい加工、料理を模索して、起業につなげるための実践講座を開講します。

開催日時: 開 講 式 平成22年6月29日(火)13:00～

講義・実地研修 平成22年6月～12月(主に火曜日午後)

開催場所: 山形大学農学部会議室(鶴岡市・農学部キャンパス)

内 容: 講義 およそ40時間 2回/月

・在来作物の歴史、食農文化、加工について

・在来作物のブランド戦略、マーケティングについて 等

実地研修 およそ30時間 1回～2回/月

・在来作物の栽培、焼き畑の体験

・在来作物の加工、対面販売実習 等

受講対象者: 農業者、販売者、在来作物利用企業・旅館等職員、行政・JA等職員

募集人員: 30名

受講料: 無料(ただし、実地研修等で実費負担があります。)

募集期間: 平成22年6月15日(火)～25日(金)

修了者は「やまがた在来作物案内人」に認定します。

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ: 山形大学農学部企画広報室 菅原

(TEL)0235-28-2803

4. 理学部「小さな科学者・体験学習会」

(概要) 小さな科学者・体験学習会は、演示実験や簡単な体験型の実験を通して、子どもたちに科学のおもしろさ・楽しさに触れてもらおうと企画したものです。

夏休みに親子で楽しくサイエンスに触れてみませんか？

申込締切: 平成22年7月14日(水)日 必着

【山形県産業科学館「発明工房」光の不思議】

日 時: 平成22年7月24日(土)13:30～15:30

会 場: 山形県産業科学館4階発明工房(山形駅西口 霞城セントラルビル内)

対 象: 小学4年～中学生およびその保護者 20名

参加費: 無料

【望遠鏡を作って観る】

日 時:平成22年7月24日(土)18:30~20:30
会 場:山形大学SCITAセンター(山形市・小白川キャンパス)
対 象:小学4年~中学生およびその保護者 20名
参加費:2,500円(望遠鏡材料費として)

【親子で体験! バイオロジー・8】

~「知ってるようで知らない」身近な生き物の観察・撮影会~
日 時:平成22年8月1日(土)13:00~16:00
会 場:山形大学SCITAセンター(山形市・小白川キャンパス)
対 象:小学5年~中学生およびその保護者 20名
参加費:無料

【わくわく化学実験ランド】

日 時:平成22年8月3日(火)14:00~16:00
会 場:山形大学SCITAセンター(山形市・小白川キャンパス)
対 象:小学4年生以上とその保護者 親子10組
参加費:無料

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学SCITAセンター
(TEL)023-628-4506

5. 有機エレクトロニクス体験ゾーン (実験・実習体験コーナー)

「次世代の有機材料が織りなす未来」

~見て、触れて、聞いて、感動してみよう!~

(概要) 今、有機材料が、エレクトロニクスの世界で産業革命をおこしています。

電球、蛍光灯にかわり、有機材料で光る製品が、世界ではじめて米沢で製品化されて10年以上がたちます。金属にかわり、電気を流すプラスチックもすでに実用化されています。太陽電池でも、硬いシリコンにかわり、柔らかい有機太陽電池が製品化されつつあります。新しい夢の時代を切り開いていくのは技術です。

是非そんな楽しい世界を体験しに来てください。

日 時:平成22年8月6日(金) 13:00~15:00
場 所:山形大学工学部ものづくりセンターA棟2階
対 象:一般市民、学生(中・高校生、高専生等) 50名
参加費:無料
締 切:平成22年7月31日(土)

原則として事前申込み制ですが、当日の参加も歓迎いたします。

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:高分子学会東北支部「有機エレクトロニクス体験ゾーン」実行委員会
山形大学工学部 事務ユニット 研究支援チーム
(TEL)023-628-4506 (FAX)0238-26-3401
E-mail:edison@yz.yamagata-u.ac.jp

6. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので開催がせまっているイベント
当日の取材をよろしく願いいたします。

○附属幼稚園公開講座「すこやか広場」

☆1回目 「手作り洋服でファッションショー」

日 時:平成22年6月22日(火) 14:30～15:45

会 場:附属幼稚園(山形市松波 2-7-1)

問い合わせ:山形大学附属幼稚園

(TEL)023-641-4446・4447

○工学部キャンパス景観シンポジウム「大学から始まる美しい米沢」

日 時:平成22年6月23日(水)12:50～15:00

会 場:工学部中示範C教室(米沢市・工学部キャンパス)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学工学部広報室

(TEL)0238-26-3419

○大学コンソーシアムやまがた公開講座「井上ひさしコレクション・シーズン1」

日 時:平成22年6月23日～7月21日 毎週水曜日全5回 18:30～19:30

会 場:ゆうキャンパス・ステーション(山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:ゆうキャンパス・ステーション 西田

(TEL)023-628-4842

○工学部公開講座「電気エネルギーを生み出す最新技術」

日 時:平成22年6月26日(土) 13:30～17:30

会 場:伝国の杜 2階大会議室(米沢市丸の内1-2-1)

受講対象:一般市民、学生(中・高・大学生)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学工学部 広報室

(TEL)0238-26-3419

○やまがた『科学の花咲く』プロジェクト「蔵王マイスター養成講座」

日 時:平成22年6月26日(土) 13:00～16:00

会 場:蔵王温泉

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局(SCITAセンター内)

(TEL)023-228-4517

○宇宙／天文を学びたい中高生のために～将来の夢地図を作ってみませんか～

日 時:平成22年6月27日(日)10:30～

会 場:郡山市ふれあい科学館スペースパーク 多目的研修室(郡山市駅前)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学理学部物理学科 柴田研究室

(E-mail) astro_godo@yahoo.co.jp (FAX)023-628-4567

○やまがた『科学の花咲く』プロジェクト「クラゲマイスター養成講座」

日 時:平成22年7月3日(土) 10:00～16:00

会 場:鶴岡市立加茂水族館

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局(SCITAセンター内)

(TEL)023-228-4517

○山形大学・宮城教育大学・福島大学「3大学合同進学説明会」(仙台会場)

日 時:平成22年7月4日(日)13:00～16:00

会 場:「仙台国際センター 3F 白樫」(仙台市青葉区青葉山無番地)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学エンrollment・マネジメント室

(TEL)023-628-4062、4063

○やまがた『科学の花咲く』プロジェクト「スライムマイスター養成講座」

日 時:平成22年7月17日(土) 13:00～16:30

会 場:山形大学農学部

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局(SCITAセンター内)

(TEL)023-228-4517

やまがた6次産業ビジネス・スクールとは

本スクールは、食農ビジネスの高付加価値を実現するために、経営感覚と起業家精神をもって6次産業化に取り組む経営者（及び将来の経営者）を育成します。

多様なニーズに応じた人材の育成

1. 農業経営を発展させ、効率的経営を志向しながら多角化をめざす人材
2. 農業経営者をリードして、地域にイノベーションを起こす人材
3. 県内農産物を原材料として、付加価値食品でビジネス確立をめざす人材
4. 地域資源を活用して交流、観光と農業を連携させ、グリーンツーリズムなどの事業化をめざす人材
5. 高付加価値型農業の展開をプロデュースする人材 等



21年度ビジネス・スクール受講風景



ビジネスプラン発表会

第6次産業とは？

農産物の生産（第1次産業）、食品加工・製造（第2次産業）、流通・販売・観光（第3次産業）を組み合わせ、多角的な経営によって、高い付加価値や新たな食と農の関連ビジネスを創出していく産業です。



県内外の第一線で活躍する講師陣による指導

■ 実践的かつ高度な内容

教育科目は、基礎的なものから専門性の高いものまで、実践に役立つ内容になっており、いずれも大学教育と同等の講義レベルを目指しています。

■ 多彩な講師陣

座学などの講義だけでなく、外部研修を組み合わせ、各界で活躍する多彩な講師陣の指導により教育効果が最大に発揮されるようにしています。

■ ビジネス計画書の作成

受講者全員が「ビジネス計画書」を作成することにより、各自がイメージするビジネスを表現し、実践をめざした即戦力が身につきます。

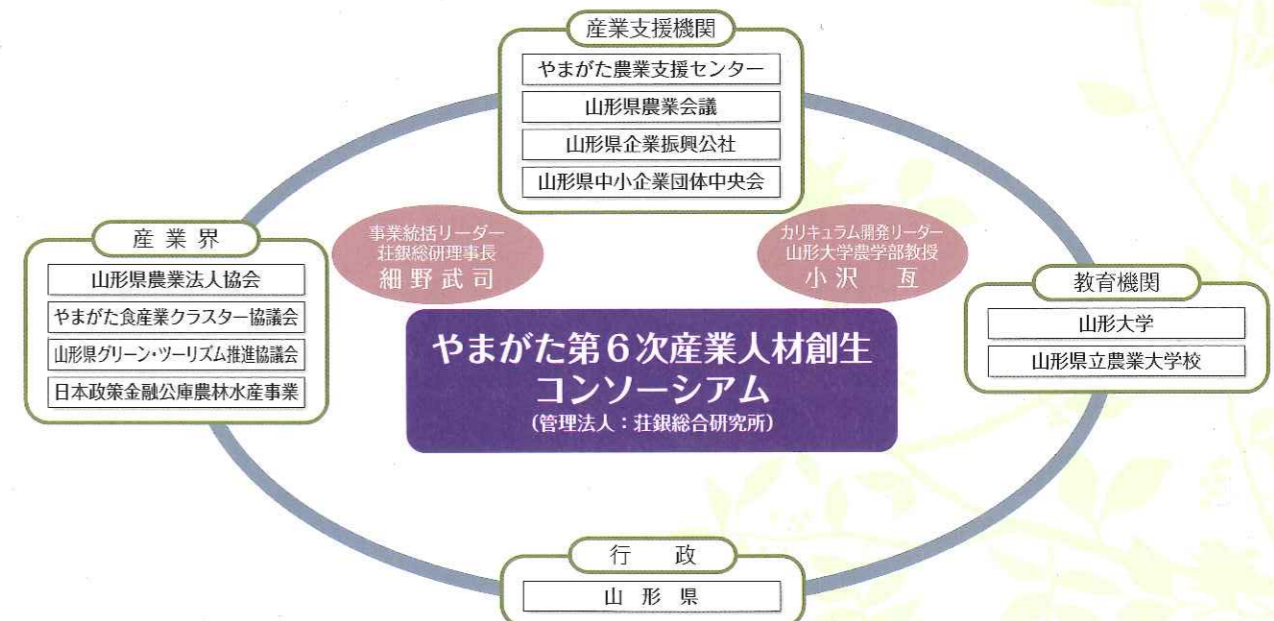
※やむを得ない事情で講義に参加できないときには自宅学習ができるようにDVD補講システムを整備します。

スクール修了後もビジネスの実現を支援！

ビジネス・スクール修了後も、受講者の事業化に向けた企画、経営、販売・市場開拓、財務の相談などの支援サービスを、気軽にかつ優先的に受けられるよう、継続的な支援体制を整備していきます（検討中）。

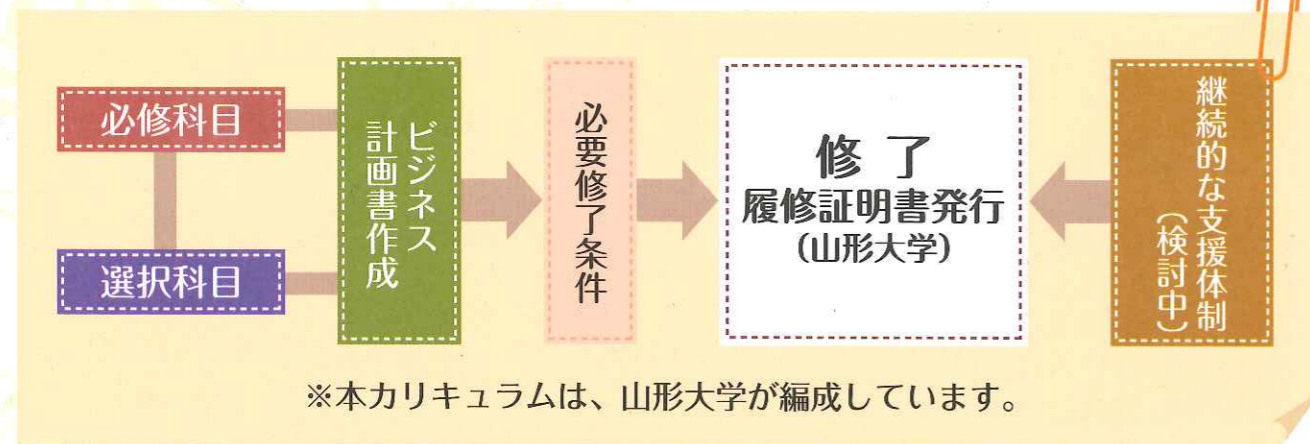


「やまがた6次産業ビジネス・スクール」実施体制



※(株)荘銀総合研究所が管理法人となり、県内の高等教育機関、農業関係団体、企業団体、行政機関など、県内における産・学・官の横断的、かつ綿密な連携体制によって研修事業を進めています。

カリキュラムについて



❖ 開講日程

- 開講期間(夏期コース)は平成22年7月から平成22年11月までの5ヶ月間です。
※冬期コースは平成22年11月末から23年2月にかけて開催します(別紙参照)。
- 開催日は原則として毎週水曜日を中心にして月5~6回程度、おおむね1回につき4時間(1単位2時間)の講義を実施します。
その間に視察研修などがあります。

❖ 履修科目の選択

- 科目は「必修科目」「選択科目」「ビジネス計画書作成」に分かれています。
 - ・必修科目: 第6次産業および食農ビジネスに関する基礎知識を学びます。
 - ・選択科目: 各自の問題意識・関心に基づいて必要な知識を学びます。
(講座開始後に受講を希望する科目をあらかじめ選択していただきます。)
 - ・ビジネス計画書作成: 受講生自らの夢や構想を具体的な事業計画として展開するため専任教員が指導します。

❖ 受講料

- 無料 ※ただし、宿泊研修の交通費・宿泊費等の実費について別途費用負担があります。

❖ 履修証明書の授与

- 本スクールは、「夏期コース」「冬期コース」(別紙参照)を継続して受講し、120時間以上の講義を取得すると修了となり、山形大学より「履修証明書」を授与します。

※「食農ビジネス管理士」の授与(検討中)

- ◆ 食農ビジネス管理士の資格は、所定の科目を修了しビジネス計画書を作成した方に対して、企画評価委員会による審査で、経営力、実践力があると認められる方に授与する制度として検討中です。

カリキュラムの概要(夏期コース)

開講科目の概要は、表の通りです。

開講日	科目名	必修・選択の別	時間	単位
7月7日(水)	6次産業の意義と役割、研修の狙い	必修	4	2
7月14日(水)	農業の経営戦略-基礎編	必修	4	2
7月21日(水)	農業の経営戦略-実践編	必修	4	2
7月24日(土) ~25日(日) (宿泊研修)	ビジネス計画書とは(1) スクール参加の私の狙い	必修	4	2
7月28日(水)	フードシステム	選択	4	2
8月4日(水)	マーケティング	必修	4	2
8月11日(水) ~12日(木) (宿泊研修)	【視察】地域資源の開発と活用 【視察】地域産業としての6次産業	選択	3	1
8月18日(水)	ビジネス計画書作成(2)	必修	4	2
8月25日(水)	食品加工の流通販売	選択	4	2
9月1日(水)	消費者行動	必修	4	2
9月8日(水)	財務会計、資金計画の作り方	必修	4	2
9月15日(水)	情報システムの活用	選択	4	2
9月22日(水)	農業経営管理	必修	4	2
9月29日(水)	農業経営管理実践	選択	4	2
10月6日(水)	ビジネス計画書作成(3)	選択	4	2
10月13日(水)	交流・観光ビジネス	選択	4	2
10月20日(水)	食品加工と衛生管理	選択	4	2
10月27日(水)	【視察】加工食品と衛生管理実践	選択	3	1
11月4日(木)	貿易と輸出ビジネス	選択	4	2
11月10日(水) ~11日(木) (宿泊研修)	【視察】売れる産直施設とは 【視察】異業種連携による6次産業	選択	3	1
11月17日(水)	ビジネスプラン発表会	必修	4	2
合計			91	42

- 視察・宿泊研修は県内及び東北近県での開催を予定しています。
- 上記講座のほかに、コンソーシアム機関と連携した「プレミアム講座」の開催も予定しています。
- 開講日は講師の都合などにより一部変更になる可能性があります。

受講生の募集について

1. 募集定員 40名程度

2. 応募資格

次のいずれかに該当する方

- ①農業を基軸に6次産業ビジネスを起こす意志をもっている方
 - ②商工業、建設業で6次産業ビジネスに進出する意志を持っている方
 - ③市町村、団体等の職員で6次産業に関する指導者やコーディネーターをめざす方
- ※パソコン、インターネット利用可能な方が望ましい。

(応募が定員を上回る場合は、選考委員会において選考し、後日ご連絡いたします。)

3. 出願期間、出願先

- 出願期間 平成22年6月11日から平成22年6月28日(当日必着)まで
- 出願先 〒990-2473 山形市松栄1-3-8 山形県産業創造支援センター内 株式会社荘銀総合研究所 6次産業推進事務局 宛

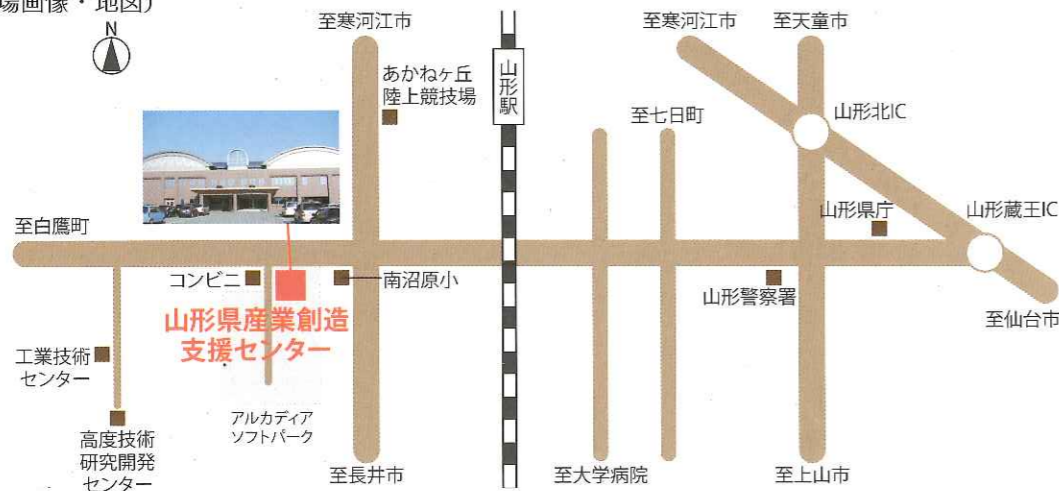
右紙が入学申込書になります。切り取って両面記入し、送付して下さい。

4. 開講場所

- 講義は、山形県産業創造支援センターを中心に開講します。
- 実習等の内容やスケジュールの都合により、会場が変更になる場合があります。

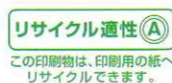
山形県産業創造支援センターへのアクセス

(会場画像・地図)



5. お問い合わせと資料請求先

〒990-2473 山形県山形市松栄1-3-8 山形県産業創造支援センター内
株式会社荘銀総合研究所 6次産業推進事務局 (担当: 志田、半田、東海林)
TEL. 023-674-0943 FAX. 023-674-9944 E-mail. info@6ji.jp
ホームページ. <http://www.6ji.jp/>



(別紙) ※調整中のため別紙にております。

後期カリキュラムの概要 (冬期コース)

★本スクールの修了は、「夏期コース」「冬期コース」を通じて受講し、120時間以上の講義を取得することが必須になります。

冬期開講科目の概要は、表の通りです。

●…必修科目 ●…選択科目 ●…ビジネス計画書作成 ●…他講座と共催(公開講座)

開講日	科目名	必修/選択の別	時間	単位
11月25日(木)	販売力・マーケティング講座(1) (農業支援センターと共催)	選択	4	2
12月1日(水)	食品機能と特定保健用食品	選択	4	2
12月2日(木)	販売力・マーケティング講座(2) (農業支援センターと共催)	選択	4	2
12月8日(水)	食品加工技術(1)	選択	4	2
12月9日(木)	コミュニティビジネス (直売所開設の現状とポイント)	選択	4	2
12月15日(水)	【実習】食品加工技術(2)	選択	3	1
12月16日(木)	【視察】ホスピタリティ・マネジメントの実際	選択	3	1
12月22日(水)	ビジネス計画書作成(5)	選択	4	2
1月12日(水)	農業経営組織	選択	4	2
1月13日(木)	食品市場の創造	選択	4	2
1月19日(水)	農林水産業関連の支援施策	選択	4	2
1月20日(木)	ビジネス計画書作成(6)	選択	4	2
1月26日(水)	人的資源マネジメント	選択	4	2
1月27日(木)	農業国際化基礎講座(農業大学校と共催)	選択	4	2
2月2日(水)	販売力・マーケティング講座(3) (農業支援センターと共催)	選択	4	2
2月9日(水)	6次産業化支援講座(農業大学校と共催)	選択	4	2
2月16日(水)	ビジネスプラン発表会(1)	必修	4	2
2月22日(火)	ビジネスプラン発表会(2)	必修	4	2
合計			70	34

- 受講料** 資料代などの一部が実費負担となります。(3万円程度)
- 実習・視察研修は県内での開催を予定しています。
- 他講座と共催の講座は公開講座になります(※受講者数を限定させていただく場合があります)。
- 開講日は講師の都合などにより一部変更になる可能性があります。

在来作物の実践講座

「おしゃべりな畑」

山形大学農学部では在来作物をテーマにした実践講座「おしゃべりな畑」を開講します。山形の多様な在来作物は季節や地域に限定されながらその風土や環境になじみつつ変遷し、地域の貴重な食材として生まれ「生きた文化財」として注目を浴びています。しかし、在来作物の栽培、利用はまだ限定されたもので、今後その利活用に大きな期待が持たれます。多彩な講師陣の元に、栽培技術や歴史、文化を学ぶと共に、機能性成分を踏まえながら高付加価値を進め、伝統的な料理に加え新しい加工、料理を模索し、栽培や販売の拡大、起業につなげるための実践講座を下記の要領で開講します。

開催日時

講義・実習／平成22年6月～12月(火曜日午後)

開講式・講座／6月29日 午後1時～4時30分

開講場所

山形大学農学部

内容 ※講座のカリキュラムは裏面をご覧ください。

- ◎講義：およそ40時間 2回/月
- ・在来作物の歴史、食農文化、加工について
 - ・在来作物のブランド戦略、マーケティングについて等
- ◎実地研修：およそ30時間 1回～2回/月
- ・在来作物の栽培、焼き畑の体験
 - ・在来野菜の加工、対面販売実習等
- 詳細は受講生にお知らせします。

受講者

募集

●申込締切日●

6月25日

●講座名の「おしゃべりな畑」は山形在来作物研究会が2010年1月に出版した二冊目の本の題名です。



山形在来作物研究会編

在来作物はやまがたの文化財

どこの畑の
片すみで

根ほり葉ほり
探してみました。

温海カブ、だだちゃ豆、雪菜、カラトリエモ、もってのほか……
生まれも育ちも山形の野菜たちは、元気でたくましく、そして美味しい！
在来作物についての解説と対談録、作物事典、分布リストと地図などを網羅した、
在来作物がまるごとわかる本！

生や
またが



大根・悪戸イモ……
山形在来作物。

さら、聞こえてきた。

編
トたちによる座談会、
まぎはじめた新しい「若もルネ」
来作物たちでいっぱいです。

- ◎受講対象者：農業者、販売者、在来作物利用企業、旅館等職員、行政・JA等職員
- ◎募集人員：30名
- ◎受講料：無料（ただし実地研修等で実費負担があります。）



お問い合わせ
お申し込みは



山形大学農学部企画広報室

TEL 0235-28-2803 FAX 0235-28-2812
e-mail: noukich@s@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

カリキュラム

開催日時	テ ー マ	講 師
6月29日(火)	1. 農業の動向と課題 2. 山形在来作物の歴史	東京大学名誉教授 今村奈良臣 山形大学農学部准教授 江頭宏昌
7月13日(火)	1. 在来作物の食農文化 2. 在来作物のマーケティング	山形大学農学部教授 平 智 (株)元青果課長 長島忠
7月27日(火)	1. 在来作物の利用の仕方、レシピ	知憩軒 長南光
8月10日(火)	1. 農商工連携の意義と研修のねらい 2. 在来作物の栽培	(株)キースタッフ代表取締役 鳥巢研二 庄内バイオ研修センター主任専門指導員 栗田公司
8月24日(火)	1. ブランド力をつける食品衛生・表示 2. 在来作物のブランド戦略	(株)キースタッフ取締役アドバイザー 坂本直亮 長岡中央青果会長 鈴木圭介
9月 7日(火)	1. 在来作物のサプライチェーン・マネージメント 2. 農作物のグリーン・ロジスティクス	日本総研上級主席研究員 下村博史 日本総研上級主席研究員 下村博史
9月21日(火)	1. 在来作物の活用可能性 2. 在来作物の全国展開の可能性	新潟県央研究所 参与 古田道夫 (株)元青果課長 長島忠
10月 5日(火)	1. 在来作物の美味しさ 2. 農産物のインターネット販売のしくみ	美味さの科学研究所 理事長 山野善正 (株)清川屋 取締役 志賀真希子
10月19日(火)	1. コミュニティの形成によるマーケティング戦略	江戸東京・伝統野菜研究会 代表 大竹道茂
11月 2日(火)	1. 市民農園、滞在型観光ワーキングホリデー等各種コミュニティとの連携事例 2. メタボローム解析結果と生産戦略	遠野山・里・暮らしネットワークマネージャー 菊池新一 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株) 部門長 石川貴正
11月16日(火)	1. 異業種のアグリビジネスへ参入 2. 生産、販売活動へのIT活用戦略	黒田組社長 黒田政喜 山菜屋.Com 遠藤初子
11月30日(火)	1.ITを活用した消費者とのコミュニケーション 2. 料理人としての在来作物の魅力	江差ふるさと市場 組合長 仙道英明 アルケッチャーノ シェフ 奥田政行
12月14日(火)	1. 在来作物の包装・保管 2. 学校教育との連携による食農教育コミュニティの形成	山形大学農学部 教授 村山秀樹 鶴岡市農政課長 小細澤充
12月21日(火)	1. 農業関連施策の概要 2. 農家の経営管理と財務	山形県庄内総合支庁農業振興課 中小企業診断士 五十嵐幸枝

※1：13:00～14:30・2：14:40～16:10の時間帯です。 ※開催日時・テーマ・講師変更の可能性あります。

在来作物の実践講座「おしゃべりな畑」受講申込書

申込締切日／平成22年6月25日(金)

fax.0235-28-2812 メール：noukich-s@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※メールの場合はタイトルに「おしゃべりな畑申込」と記載の上、下記の内容を明記してお送りください。

ご氏名	(ふりがな)	会社名 ご所属	
ご連絡先	〒	電話番号	

小さな科学者 体験学習会



主催：山形大学理学部
後援：山形市教育委員会

申込締切

平成22年

7月14日(水)

必着

申込方法

裏面の「参加申込書」等
によりお申し込みください。

小さな科学者・体験学習会は、演示実験や簡単な体験型の
実験を通して、子どもたちに科学のおもしろさ・楽しさに
触れてもらおうと企画したものです。

夏休みに親子で楽しくサイエンスに触れてみませんか？

7/24
(土)

山形県産業科学館「発明工房」
光の不思議

参加費 無料

光の不思議な
性質を体験して
みませんか？
簡単な工作も
あります

時間 13:30～15:30

場所 山形県産業科学館4F発明工房
(山形駅西口 霞城セントラルビル内)

対象 小学4年生～中学生 20名
およびその保護者

7/24
(土)

望遠鏡を
作って観る

参加費 2500円 (望遠鏡材料費として)

ガリレオのように
望遠鏡を作って
みよう！
月面クレーター
にびっくり!

時間 18:30～20:30

場所 山形大学SCITAセンター
(山形大学小白川キャンパス 理学部内)

対象 小学4年生～中学生 20名
およびその保護者

8/1
(日)

親子で体験！
バイオロジー・8

～「知ってるようで知らない」
身近な生き物の観察・撮影会～

参加費 無料

身近な環境で
よく見る生き物を
題材にした
実験講座です

時間 13:00～16:00

場所 山形大学SCITAセンター
(山形大学小白川キャンパス 理学部内)

対象 小学5年生～中学生 20名
およびその保護者

8/3
(火)

わくわく化学
実験ランド

参加費 無料

振ると色が
変わる不思議な
ボトルなど
すごい化学反応
を体験しよう!

時間 14:00～16:00

場所 山形大学SCITAセンター
(山形大学小白川キャンパス 理学部内)

対象 小学4年生以上とその保護者
親子10組

小さな科学者体験学習会 参加申込書

この申込用紙に必要事項をご記入の上、ファックスでお申し込みください。
FAX. 023-628-4506

平成 年 月 日

●希望する講座(○を付けてください。) ※複数の講座のお申し込みも可能です。

- 7/24(土) 光の不思議
- 7/24(土) 望遠鏡を作って観る
- 8/ 1(日) 親子で体験! バイオロジー・8
- 8/ 3(火) わくわく化学実験ランド

●おなまえ(ふりがな)

●年齢

男性 女性

歳

●ご住所 〒

●TEL

●FAX

●メールアドレス

●学校名

●学年

●同伴する保護者のお名前(ふりがな)

学年

※参加申込み時にいただきました個人情報は、本件に関する準備・連絡以外には使用いたしません。

●ファックスをお持ちでない場合は、ハガキまたはメールに参加申込書と同じ項目をご記入の上、下記申込先までお送りください。

⑤ 申込締切：平成22年7月14日(水)必着

⑤ 参加者の決定方法：お申し込みが多数の場合は、抽選になります。

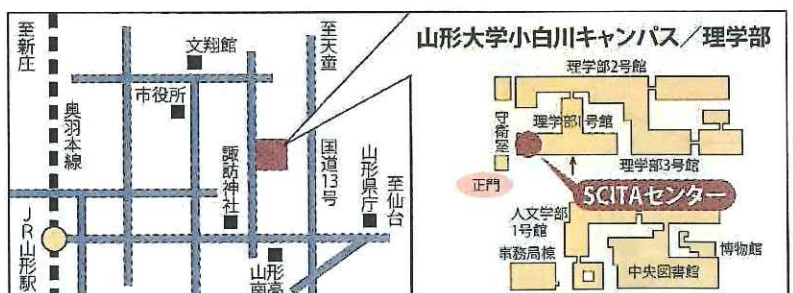
残念ながら定員を上回ったため参加いただけない場合は、別途その旨をお知らせいたします。

<お申し込み先>

サイト

山形大学SCITAセンター

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
TEL/FAX 023-628-4506
E-Mail scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp



有機エレクトロニクス体験ゾーン

(実験・実習体験コーナー)

8/6
2010.FRI
13:00~15:00

次世代の有機材料が織りなす未来

～見て、触れて、聞いて、感動してみよう!～

今、有機材料が、エレクトロニクスの世界で産業革命をおこしています。電球、蛍光灯にかわり、有機材料で光る製品が、世界ではじめて米沢で製品化されて10年以上がたちます。金属にかわり、電気を流すプラスチックもすでに実用化されています。太陽電池でも、硬いシリコンにかわり、柔らかい有機太陽電池が製品化されつつあります。新しい夢の時代を切り開いていくのは技術です。是非、そんな楽しい世界を体験しに来てください。

場所

山形大学工学部 ものづくりセンター A棟 2階(裏面参照)

〒992-8510 米沢市城南4丁目3-16

対象

一般、学生(中・高校生、高専生など)

参加費

無料

定員

50名

プログラム

13:00 はじめに 高橋辰宏 副学部長

【講演の部】「“曲がる・柔らかい・軽い・作りやすい”有機材料の魅力を紹介」

13:05~13:20 光る! 時任静士 教授

13:20~13:35 電気が流れる! 倉本憲幸 教授

13:35~13:50 電気が発生する! 廣瀬文彦 教授

【実験の部】「“見て、触れて、聞いて、感動してみよう!”」

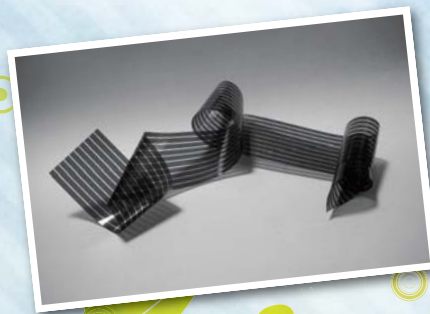
3種類の実験を体験していただきます。

1 輝きを体験してみよう! 新しい有機の光vs新しい無機の光vs蛍光灯vs白熱電球

2 音をきいて感動してみよう! とても薄い透明フィルムスピーカで見て感動できる

3 太陽光で動く! 有機太陽電池vsシリコン太陽電池

15:00 おわりに 高橋辰宏 副学部長



■連絡先 〒992-8510 山形県米沢市城南4丁目3-16 山形大学工学部内

高分子学会東北支部「有機エレクトロニクス体験ゾーン」実行委員会

担当:工学部事務ユニット研究支援チーム

TEL 0238-26-3004

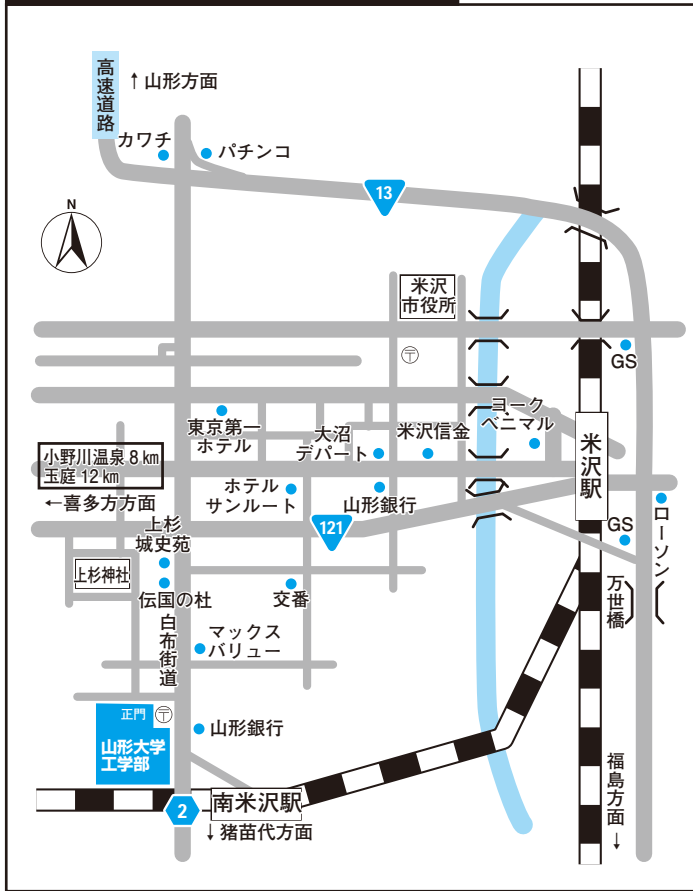
FAX 0238-26-3401

edison@yz.yamagata-u.ac.jp

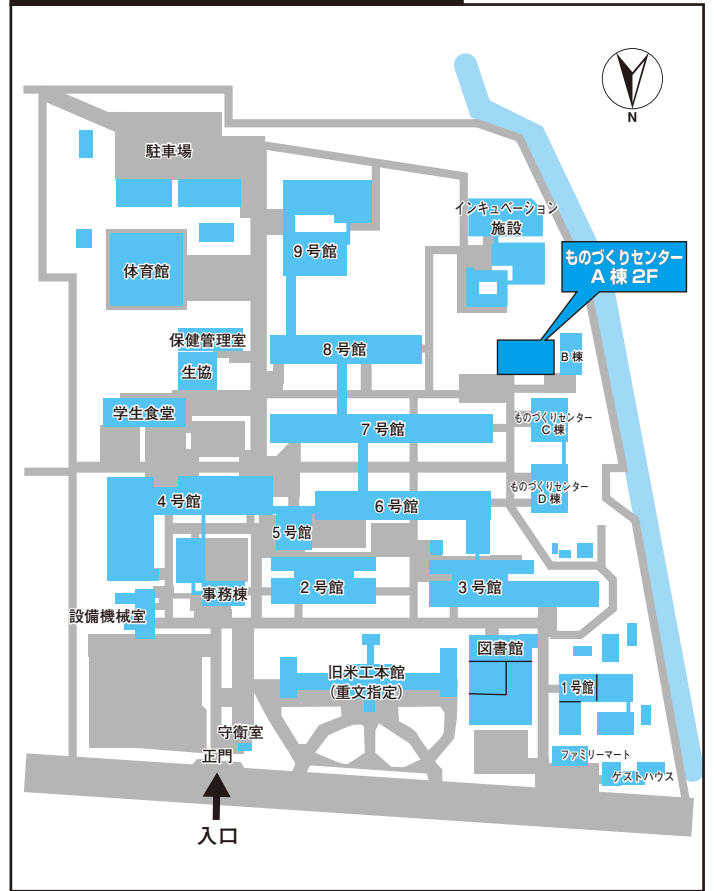
■ホームページ(<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/info/2010/100806yuuki.html>)

お申し込み方法は裏面をご覧ください

ACCESS



CAMPUS MAP



参加申し込み

ホームページ(<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/info/2010/100806yuuki.html>)からお申し込みください。
FAX、E-mailでのお申し込みも受け付けております。

※メールでお申し込みの際には、件名に「体験ゾーン参加」と記載願います。

氏名(ふりがな)、性別、所属、生年月日、年齢、電話番号、メールアドレスを記載の上、下記連絡先までお申し込みください。

■主催 社団法人 高分子学会 ■後援 山形大学工学部

■連絡先 〒992-8510 山形県米沢市城南4丁目3-16 山形大学工学部内
高分子学会東北支部「有機エレクトロニクス体験ゾーン」実行委員会

担当:工学部事務ユニット研究支援チーム **TEL** 0238-26-3004 **FAX** 0238-26-3401

 edison@yz.yamagata-u.ac.jp

 ホームページ(<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/info/2010/100806yuuki.html>)

■参加申込書 ※ご登録いただいた情報は、参加者の確認と保険のためにのみ利用させていただきます。

ふりがな 氏名	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
所属	生年月日、年齢	昭和・平成 年 月 日 (才)
電話番号	メールアドレス	

※締切:平成22年7月31日(土)

原則として事前申込み制ですが、当日の参加も歓迎致します。

大学から始まる美しい米沢

美しい大学キャンパスは都市を魅力的にする。



美しい快適な大学キャンパスは
そこにいる学生・教職員はもちろん
周辺に住む皆様にも、心の安らぎをもたらす
地域の誇りともなります。

しかし、これまでの山形大学工学部のキャンパスは
工学部の特性として機能を優先してきた結果
景観にはあまり配慮されてきませんでした。
そこで、これからのキャンパスを美しく快適にするために
この度、整備計画(景観マスタープラン)を
学生・専門家・地域の方々と交えて練り上げました。
この整備計画の公開とともに、関連する皆様方と
景観という視点から工学部と米沢の将来について考える
シンポジウムを開催いたします。

2010
6/23

一般の方
学生歓迎

参加無料
申込不要

12:50 ~ 15:00

工学部中示範C教室

公共交通機関をご利用の上、ご来場下さい。

第1部 講演 (12:50~)

- 「景観整備の持つ偉大なる効果」
景観マスタープラン作成委員会委員長
志村 勉 (山形大学理工学研究科教授)
- 「みんなが誇りに思えるキャンパスづくり」
景観マスタープラン作成委員会専門家委員
仙田 満 (環境デザイン研究所会長)

第2部 パネルディスカッション (13:45~)

- テーマ「美しい大学キャンパスは都市を魅力的にする」
パネラー 仙田 満
結城 章夫 (山形大学学長)
大場 好弘 (山形大学工学部長)
佐藤 徳紀 (山形大学大学院生)
コーディネーター 志村 勉



講師プロフィール: 仙田 満(せんだみつる)

1941年神奈川県生まれ / 1964年東京工業大学建築学科卒業
1964~68年菊竹建築設計事務所 / 1968年環境デザイン研究所設立
1992~2005年東京工業大学工学部建築学科教授
1999~2001年日本建築学会副会長
2001年~03年日本建築学会会長
2006年日本建築家協会会長
現在、日本建築学会名誉会員、放送大学教授、日本学術会議委員

公開講座のお知らせ

井上ひさしはこう考えた シーズン1

日時：6月23日～7月21日までの毎週水曜日 全5回
18:30～19:30

会場：ゆうキャンパス・ステーション(山形駅東口から徒歩1分)

受講料：無料 定員：60名

対象：どなたでも受講できます

読書案内人：山本陽史 氏(山形大学基盤教育院 教授)

読売新聞山形版に「やまがた文学・芸術紀行」を月1回連載、山形新聞に「やまがた再発見」を複数の執筆者でリレー連載中。

テレビ番組「トリビアの泉」「日本語ボーダーライン」「クイズ雑学王」などに日本語の語源や使い方についてのコメンテーターとして出演多数。

概要：先日亡くなられた山形県出身の作家・劇作家井上ひさし氏の代表作を紹介しながら、作品の鑑賞を深める解説と、井上ひさし氏の思想や他の作品についても随時言及していきます。第1回目のみは読書案内人の話が中心ですが、それ以降は受講生の皆さんとの双方向の対話を心がけながら進めていきます。
なお、好評な場合、秋に「シーズン2」を実施します。

内容：(第2回以降は各自指定の図書を書店等で入手し、持参してください)

6月23日 第1回 井上ひさし文学への招待(指定図書はありません)

6月30日 第2回 『手鎖心中』(文春文庫)

7月 7日 第3回 『吉里吉里人』(上 新潮文庫)

7月14日 第4回 『吉里吉里人』(中 新潮文庫)

7月21日 第5回 『吉里吉里人』(下 新潮文庫)

お申し込み・お問い合わせ：大学コンソーシアムやまがた

ゆうキャンパス・ステーション

電話：023-628-4842 E-mail：unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催：大学コンソーシアムやまがた



平成22年度 山形大学工学部 公開講座

電気エネルギーを生み出す最新技術

受講料無料

6/26
(土)

CO₂削減やエネルギー不足などが深刻な社会問題となっている現在、現代工学はどう対応すべきかが問われています。夢の発電手法として期待されている「核融合発電」やクリーンな発電の代表的な手段「太陽光発電」また、放電のエネルギーの利用など、クリーンな環境での電気エネルギー問題に的を絞った公開講座を開講します。

時間 / 13:30~17:30

場所 / 伝国の杜2F 大会議室

米沢市丸の内1-2-1 TEL.0238-26-8001

受講対象 / 一般市民、学生(中・高・大学生)

定員 / 60名

13:30~13:35 開会のあいさつ及びスケジュール説明

入退場自由
途中からの参加も
歓迎いたします!

Topics 1 核融合発電の現状と将来 13:35~14:35

自然科学研究機構 核融合科学研究所 所長 小森彰夫

Topics 2 エネルギー・環境問題の解決に向けた超電導応用技術の動向 14:40~15:20

山形大学大学院理工学研究科 教授 中島健介

15:20~15:50 休憩

Topics 3 低コスト高効率太陽電池開発の現状と今後の課題 15:50~16:30

山形大学大学院理工学研究科 教授 廣瀬文彦

Topics 4 放電エネルギーの利用と今後の課題 16:35~17:15

山形大学大学院理工学研究科 准教授 杉本俊之

17:15~17:25 全体的な質疑応答 17:25 閉会のあいさつ

参加申込書〈受講料無料〉

必要事項を記載の上、FAXまたはメールにてお申してください。
ご登録いただいた情報は、参加者の確認にのみ利用させていただきます。
申込締切：6月15日(火) ※当日の参加も歓迎いたします。

氏名	
所属 (学校・勤務先名)	
電話番号	
メールアドレス	



問い合わせ先 / 工学部事務ユニット 広報室 米沢市城南4-3-16 TEL/FAX 0238-26-3419

メールアドレス edison@yz.yamagata-u.ac.jp

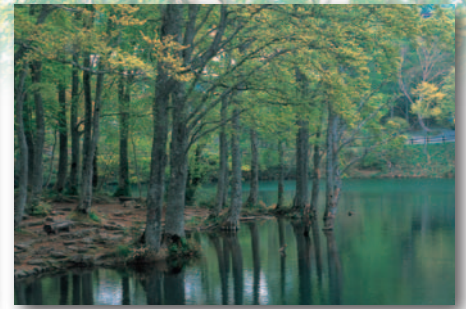
蔵王マイスター 養成講座のご案内



蔵王樹氷



蔵王お釜



蔵王ドッコ沼

やまがた『科学の花咲く』プロジェクトでは、科学が文化として地域社会に根付くよう県内各地域、各分野の大学、科学館、研究機関、教育関係者などの連携による科学技術理解の活動充実や活発化、サイエンス・コミュニケーター養成をすすめています。地域や家庭での「科学遊び」など、身近な科学コミュニケーションの活発化をすすめ、科学への関心が低い人も興味を持ち、地域全体で、誰もが科学に触れて楽しめる環境づくりをすすめています。

やまがた『科学の花咲く』プロジェクトでは、地域や家庭で科学の不思議や面白さ、科学技術を伝える講師や補助者になって頂くための指導者養成講座を下記の通り開講します。

日時	場所	講座内容
平成22年6月26日(土) 13:00~16:00	蔵王温泉	蔵王温泉の現状視察（蔵王清掃活動）など
7月10日(土) 13:00~16:00	山形大学 SCITA センター	蔵王火山について
8月21日(土) 13:00~17:00	山形大学 理学部	樹氷について
8月以降	蔵王 山形大学 SCITA センター など	温泉、地質、防災、植生、動物、山の注意点、蔵王温泉の歴史 など



蔵王温泉大露天風呂

- 受講料／**無料**
- 申込方法／裏面受講申込書により申し込んでください。
- 締切／平成22年6月18日(金)
- 定員／**20名**(応募者多数の場合には抽選となります)

**受講無料
定員20名**

お問い合わせ先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター
TEL・FAX(023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : <http://www.kagaku-scita.jp/> 担当：今野・鈴木

●主催／JST地域ネットワーク支援事業 やまがた『科学の花咲く』プロジェクト(山形大学、山形県) ●共催／蔵王温泉観光協会

今後いろいろなマイスター養成講座(初級)を行いますので楽しみに!

蔵王マイスター 養成講座

受講申込書

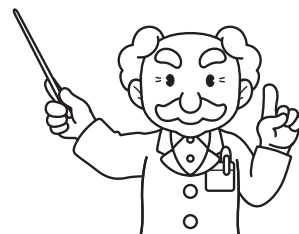
氏名	(所属機関)	(職名)	住所・連絡先
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
			〒 TEL () - FAX () - E-mail

応募動機に関して

蔵王火山について、先生に聞いてみたい事

樹氷について、先生に聞いてみたい事

※ 傷害保険（プロジェクト事務局負担）に加入しますので、所属機関・職名がない方でも住所・連絡先は必ずお書きください。



申込
締切

平成22年 6月18日(金)

お
申
し
込
み
先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター

TEL・FAX(023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : <http://www.kagaku-scita.jp/> 担当：今野・鈴木

中高生向けセミナー

宇宙／天文を学びたい中高生のために ～将来の夢地図を作ってみませんか～

“宇宙を学ぶ”にはいろいろな方法・道筋があります。
第一線の研究者と語り合っ、宇宙への興味を膨らませてみませんか？

～宇宙を学べる大学の紹介、進路ガイダンスを併設～

2010 6月27日(日) 10:30～

会場：郡山市ふれあい科学館スペースパーク 多目的研修室

受付：ビッグアイ22階 展望ロビー (科学館エントランス)

(福島県郡山市駅前2-1-1-1 ビッグアイ20～24階)
http://www.space-park.jp/ TEL 024-936-0201



宇宙・天文を学びたい中学・高校生のみなさん
宇宙・天文を学べる大学を知りたい先生方
ぜひお気軽にお越しください

— 主な内容 —

宇宙／天文を学べる大学の紹介

体験しよう、語り合おう
～もっと突っ込んだ夢さがしの時間～



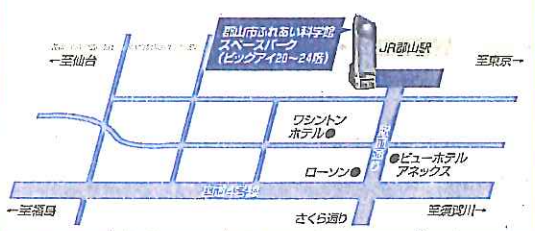
コミュニケーションの時間

「宇宙／天文を学んだ立場から」をテーマにした

体験談紹介コーナー

実習ミニ体験コーナー・4次元宇宙シアター

— 会場案内 —



交通：
JR 郡山駅西口
徒歩1分

※科学館専用の駐車場は
ございません

主催：東北地区の宇宙を学べる大学有志
共催：天文教育普及研究会東北支部・郡山市ふれあい科学館
NPO 法人 小さな天文学者の会

— 参加大学・研究機関 — ※5/31現在

弘前大学 理工学部 (物理科学科・地球環境学科)

宮城教育大学 教育学部 (理科教育専攻 / 理科コース)

東北大学 宇宙地球物理学科 (天文学コース・地球物理コース)

※地学、工学・宇宙航空等、宇宙関係研究を行う諸学科紹介を含みます

山形大学 理学部物理学科 (宇宙物理学グループ・宇宙放射線グループ)

会津大学 コンピュータ理工学部 (宇宙情報科学クラスター)

新潟大学 理学部 (物理学教室)

上越教育大学 学校教育学部 (自然系コース (理科))

埼玉大学 教育学部 (理科教育講座)

理学部 (物理学科)

筑波大学 理工学群 (物理学類)

茨城大学 理学部 (物理学コース・地球環境科学コース・学際理学コース)

大阪教育大学 教育学部

(教員養成課程理科教育講座 天文学研究室 /

教養学科自然研究講座 宇宙科学研究室)

国立天文台 水沢 VLBI 観測所 ※ポスターでの紹介のみ

(総合研究大学院大学物理科学研究科天文科学専攻)

参加費：無料 当日自由参加

— 事前参加申し込みの受付を行います —

受付期間：6月1日(火)から6月20日(日)まで

*当日も参加受付いたします。

申込先：郡山市ふれあい科学館 TEL: 024-936-0201

*開館日の午前10時～午後6時

※受付時に、氏名、学年(担当学年)をお伝えください。
事前申込されたみなさんには、当日受付にて
ささやかですが、「宇宙への興味が膨らむ」グッズを
プレゼントいたします。

お問い合わせ先：山形大学理学部物理学科 柴田研究室
(電子メールかファックスで問い合わせください)

email: astro_godo@yahoo.co.jp fax: 023-628-4567

— この企画はどんな企画？ —

宇宙／天文を学べる大学は全国各地に広がっていて、そこでは様々な宇宙／天文学の研究や教育が行われています。

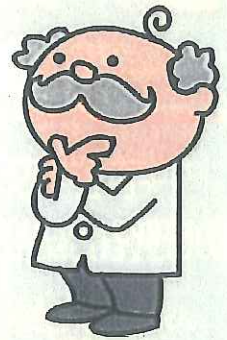
中学生、高校生のみなさんは、宇宙／天文に興味があっても、

- ・どこで、どのようにしたら学ぶ機会が得られるのだろうか？
- ・中学や高校では何を勉強するとよいのだろうか？
- ・どのようなことが研究されているのだろうか？
- ・どのように進路を考えたらいいのだろうか？

とわからないことも多いと思います。

そこで宇宙／天文を学べる大学の研究者が集まり、このような疑問に直接答えていただける場を設けます。宇宙／天文を学ぶためのHow Toを知ることのできる、またとない機会です。

宇宙／天文を学ぶことに関心のある中高生はもちろん、進路指導部の先生や理科ご担当の先生の参加も歓迎いたします。



— どんな話が聞けるの？ —

今回は、主に東北地方各地の「宇宙／天文を学べる大学」の先生方と直接お話をすることができます。

たとえば

- ・ブラックホール ・宇宙論 ・銀河形成
- ・天文教育、星空案内人®の普及 ・銀河進化
- ・重力レンズ ・地球、惑星の探査 ・パルサー
- ・X線観測 ・地球惑星科学 ・太陽観測
- ・相対論的宇宙物理学 ・探査機の運用

をキーワードに研究されている先生がお越しになります。興味を持った内容、また宇宙でどのようなことが学べるテーマとなるのか、ヒントがたくさんあることでしょう。大学での研究の紹介のほか、みなさんが宇宙への夢を描くカギが盛りだくさんの1日です。

このほかにも、いろいろなコーナーがあり

- ・宇宙を学んだ(元)学生の体験談から、学ぶのに大事なことを知る
 - ・観測データから、天体のなぜ解きに挑戦！
- などができます。

研究者と気軽に語り合い、そしていろいろな体験をして宇宙を学ぶ一歩をはじめましょう！



開催プログラム (予定)

10:00 受付開始(郡山市ふれあい科学館 22階)

★第1部 宇宙／天文を学べる大学の紹介

10:30～14:20 宇宙を学べる各大学の紹介・説明

途中：昼食休憩(館内、近隣の食事処をご利用ください)

★第2部 体験しよう、語り合おう

～もっと突っ込んだ夢さがしの時間～

14:20～15:00 ※引き続き 16:30 まで開催します

各大学の紹介ポスターを前に楽しい会話をしたり、疑問点を解決しましょう。マル秘情報がゲットできるかも?! そのほか、宇宙を学んだ体験談も紹介します。自由にいろいろなコーナーを巡ってください!

★オプションメニュー

15:05～16:30


- ・実習体験コーナー ・4次元宇宙シアター

※途中からの参加、途中での退室も可能です。

クラゲマイスター 養成講座(初級)のご案内

やまがた『科学の花咲く』プロジェクトでは、科学が文化として地域社会に根付くよう県内各地域、各分野の大学、科学館、研究機関、教育関係者などの連携による科学技術理解の活動充実や活発化、サイエンス・コミュニケーター養成をすすめています。地域や家庭での「科学遊び」など、身近な科学コミュニケーションの活発化をすすめ、科学への関心が低い人も興味を持ち、地域全体で、誰もが科学に触れて楽しめる環境づくりをすすめています。

やまがた『科学の花咲く』プロジェクトでは、地域や家庭で科学の不思議や面白さ、科学技術を伝える講師や補助者になって頂くための指導者養成講座を下記の通り開講します。

日時・場所	講座名	講座内容
平成22年 7月3日(土) 10:00~16:00 鶴岡市立加茂水族館 (鶴岡市今泉字大久保656)	プロジェクトについて	プロジェクト説明
	クラゲ展示見学	展示の様子などを見学
	クラゲの展示について	加茂水族館のクラゲ展示の取り組みについて
	クラゲ学習会	クラゲに関する基礎講座
	クラゲに対する安全講座	カギノテクラゲの刺傷被害の症例
	安全講座	海での安全な採取方法について
	クラゲ採集	カギノテクラゲの採集(実際に海に行きクラゲを採取)
	クラゲ輸送法	ほかの場所で飼育や展示をするための輸送法
7月18日(日) 10:00~16:00 山形大学SCITAセンター (山形市小白川町一丁目4-12)	クラゲの展示法	クラゲの展示方法、水槽の組み立てなど
	オワンクラゲの発光実験。 発光の仕組み	オワンクラゲの発光現象を化学的に学ぶ
	クラゲの進化講座	パラオのタコクラゲおよびミズクラゲの形態変化の謎
	実験指導講座	子供の発達に合わせた指導法及び注意点
8月1日(日)9:00~15:00 鶴岡工業高等専門学校 (鶴岡市井岡沢田104) 8月22日(日)9:00~15:00 イオン三川ショッピングセンター (三川町猪子字和田庫128-1)	実験指導実施講座	準備および実施指導、 学校やショッピングセンターで 指導者として実施
		



- 受講料/無料
- 申込方法/裏面受講申込書により申し込んでください。
- 締切/平成22年6月18日(金)
- 定員/15名(応募者多数の場合には抽選となります)

**受講無料
定員15名**

お問い合わせ先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター
TEL・FAX(023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

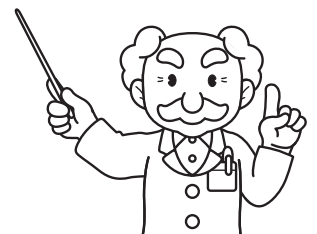
HP : <http://www.kagaku-scita.jp/> 担当 : 今野・鈴木

クラゲマイスター 養成講座(初級)

受講申込書

氏名	(所属機関)	(職名)	住所・連絡先
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
応募動機に関して			

※ 傷害保険（プロジェクト事務局負担）に加入しますので、所属機関・職名がない方でも住所・連絡先は必ずお書きください。



申込
締切

平成22年 6月18日(金)

お
申
し
込
み
先



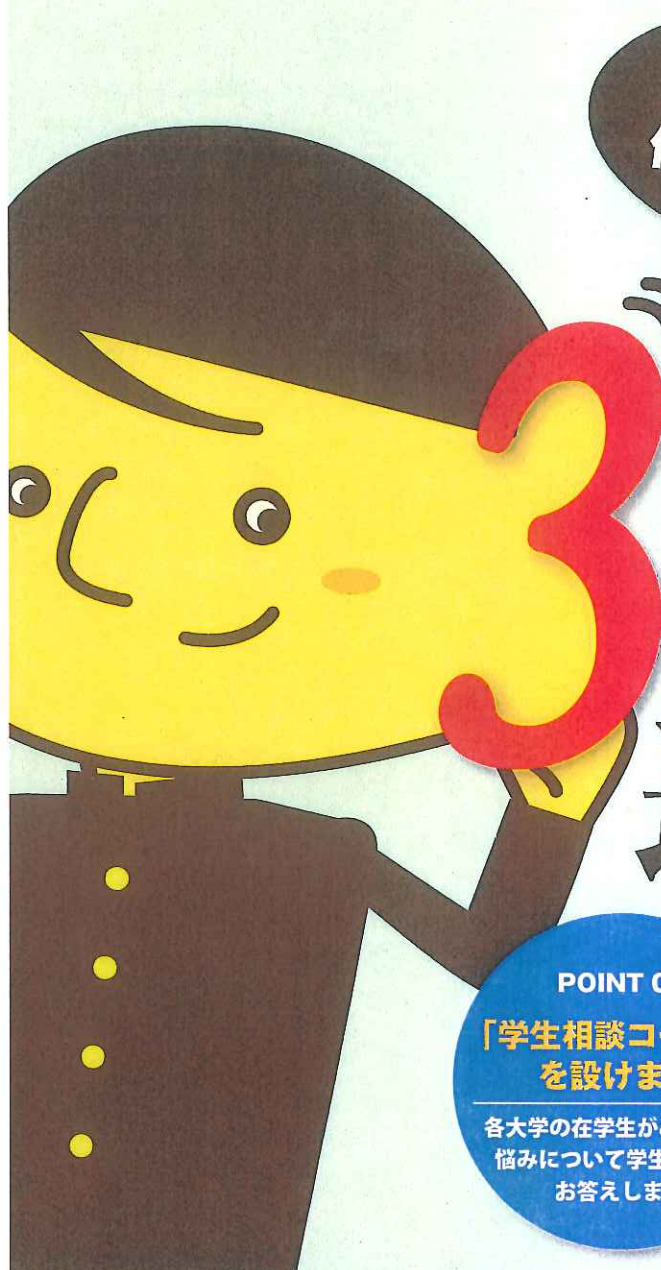
やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター

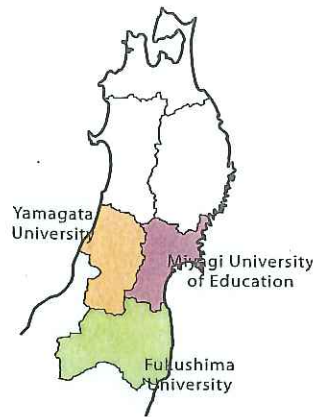
TEL・FAX(023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : <http://www.kagaku-scita.jp/> 担当：今野・鈴木



気になることが
何でも聞ける!



東北地区 国立大学

宮城教育大学 福島大学 山形大学

3 大学合同 進学説明会

POINT 01
「学生相談コーナー」
を設けます。
各大学の在学学生がみなさまの
悩みについて学生の視点で
お答えします。

POINT 02
各大学の資料を
多数取り揃えて
おります。

POINT 03
センター試験の
英語で使用する
リスニング機器を
体験できます。

平成22年 **7/4** 日
時間 13:00~16:00



しらかし
仙台国際センター 3F 白檀
〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地
*有料地下駐車場はございますが、数に限りがございますので、できるだけ
公共の交通機関(仙台市営バスなど)をご利用ください。
仙台駅よりバスでお越しの方
▶乗車… 仙台駅西口バスプール9番乗り場より「宮教大・青葉台」、「宮
教大・成田山」、「宮教大」、「動物公園循環(青葉通・工学部経
由)」、「交通公園・川内営業所」のいずれかにお乗りください。
▶下車… 「博物館・国際センター前」でお降りください。

- 【会場1】:「白檀」内
「大学説明会」 13:00~15:10
(第一部) ① 13:00~13:20 宮城教育大学
② 13:20~13:40 福島大学
③ 13:40~14:00 山形大学
(第二部) ④ 14:10~14:30 宮城教育大学
⑤ 14:30~14:50 福島大学
⑥ 14:50~15:10 山形大学
※第一部と第二部の説明は同内容です。

■【会場2】:「白檀」内
「個別相談会」 13:00~16:00

高等学校等の先生方、保護者のみなさまのご来場も歓迎いたします。近隣のみなさまは是非ともご来場し、3大学の情報を入手してください。

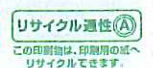
詳しくは各大学ホームページをご覧ください。
◎宮城教育大学 <http://www1.miyakyo-u.ac.jp/> ◎福島大学 <http://www.fukushima-u.ac.jp/> ◎山形大学 <http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html>

お問い合わせ先: 山形大学エンロールメント・マネジメント室
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL: 023-628-4062・4063
FAX: 023-628-4185 e-mail: enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

「事前申込」いただいた方に
オリジナルグッズをプレゼントします。事前申込はコチラ
<http://daigakujc.jp/3goudou-sendai/>



当日の
参加も
大歓迎!



第二期

スライムマイスター 養成講座(初級)のご案内

花咲かせ隊養成講座スライムマイスター養成講座(初級)とは?

スライムに関する化学の知識と小さな子供たちへの指導方法を学び、スライムの楽しみ方をみんなに教えてくれるのがスライムマイスター(初級)です。幼稚園や小・中学校、ショッピングモールで指導したり、一緒に遊んだり、地域のボランティアとして活動してみませんか?

やまがた『科学の花咲く』プロジェクトでは、地域や家庭で科学の不思議や面白さ、科学技術を教える講師や補助者になって頂くためのスライムマイスター養成講座を下記の通り開講します。

講座名	講座内容
化学実験安全講座	一般的に使用している危険物および実験で使用する物質の性質、安全な取扱い等
実験指導講座	子供の発達に合わせた指導法の在り方、注意点
基礎講座	高分子化学の基礎、スライムとは? スライムの作成実験
実験講座	スライム時計、スライム電池、スライム風船、スライムボール、伸びるスライムの作成実験
実験指導実施講座	準備および実施指導、学校やショッピングモールで指導者・補助者として実施

月日	時間	講座名
平成22年 7月17日(土)	13:00 ~ 13:10	やまがた『科学の花咲く』プロジェクトについて
	13:10 ~ 13:40	化学実験安全講座
	13:50 ~ 14:20	実験指導講座
	14:30 ~ 16:30	基礎講座
7月28日(水)	18:30 ~ 21:00	実験講座
8月1日(日) or 8月22日(日)	9:00 ~ 15:00	実験指導実施講座 1日/鶴岡工業高等専門学校 22日/イオン三川ショッピングセンター

スライムって何だろう?
ちよつと勉強してみたい!
ほほかの子どもにも教えてみたい
という方も大歓迎です!

**受講無料
定員20名**

すべての講座を受講した方は「スライムマイスター(初級)」に認定され、『科学の花咲かせ隊』隊員として活動できます。



**受講
場所**

**山形大学
鶴岡キャンパス** (鶴岡市若葉町1-23)
および **鶴岡工業高等専門学校**
(鶴岡市井岡沢田104)
イオン三川ショッピングセンター
(三川町猪子字和田庫128-1)

- 受講料 / **無料**
- 申込方法 / 裏面受講申込書により申し込んでください。
- 締切 / 平成22年6月18日(金)
- 定員 / **20名** (応募者多数の場合には抽選となります)

お問い合わせ先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター
TEL・FAX(023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : http://www.kagaku-scita.jp/ 担当 : 今野・鈴木

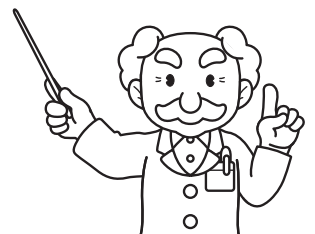
スライムマイスター 養成講座(初級)

受講申込書

氏名	(所属機関)	(職名)	住所・連絡先
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
			〒 TEL () - FAX () - E-mail

応募動機に関して

※ 傷害保険（プロジェクト事務局負担）に加入しますので、所属機関・職名がない方でも住所・連絡先は必ずお書きください。



申込
締切

平成22年 6月18日(金)

お
申
し
込
み
先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター

TEL・FAX(023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : <http://www.kagaku-scita.jp/> 担当：今野・鈴木